

# 研究活動報告

## Report on Research Activities

(2012年1月1日～2012年12月31日)

ここに収録された題目は、学内研究者の発表したもののうち、2012年1月1日より2012年12月31日迄の期間に学術雑誌等や学会等で発表したものを、論文の性質、発表機関などには一切制限を加えず、提供された原稿のまま掲載した。

- |    |           |
|----|-----------|
| 凡例 | ①著書：      |
|    | ②総説・原著論文： |
|    | ③報告・資料：   |
|    | ④学会発表：    |
|    | ⑤雑誌・新聞等：  |
|    | ⑥その他：     |

### 〔スポーツ科学科〕

#### —スポーツ医科学コース—

#### 教授

形本 静夫

#### ②

1. 佐賀典生, 内藤久士, 形本静夫. 温熱処置と伸張性運動を組み合わせたトレーニングが筋痛・筋損傷に及ぼす影響. *デサントスポーツ科学* 33: 127-135 (2012)
2. Ishii H, Yanagiya T, Naito H, **Katamoto S**, Maruyama T. **Theoretical study of factors affecting ball velocity in instep soccer kicking.** *J Appl Biomech.* 28(3): 258-270 (2012)
3. Kurosaka M, Naito H, Ogura Y, Machida S, **Katamoto S**. **Satellite cell pool enhancement in rat plantaris muscle by endurance training depends on intensity rather than duration.** *Acta Physiol (Oxf).* 205(1): 159-166 (2012)
4. Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Ogura Y, Sugiura T, **Katamoto S**. **Heat stress activates the Akt/mTOR signalling pathway in rat skeletal muscle.** *Acta Physiol (Oxf).* 2012 Nov 21. [Epub ahead of print]

5. Matsuzuki H, Haruyama Y, Muto T, Aikawa K, Ito A, **Katamoto S**. **Workers' load and job-related stress after a reform and work system change in a hospital kitchen in Japan.** *Environ Health Prev Med.* 2012 Jul 12. [Epub ahead of print]

#### ③

1. 形本静夫. 平成23年度「自転車による健康増進のための自然科学的研究」報告書. 財団法人 日本自転車普及協会 (2012)
2. 内藤久士, 形本静夫, 関根紀子, 佐賀典生, 小林裕幸. **ACTN3 遺伝子タイプを生かした運動処方プログラムの開発に関する研究.** 順天堂スポーツ健康科学研究第3巻 Supplement: 1, (2012)
3. ヘイキ・ソーネステ, 柿木 亮, 坂本彰宏, 形本静夫. **サイクル化を取り入れたレジスタンストレーニングの最適な運動量に関する研究.** 順天堂スポーツ健康科学研究第3巻 Supplement: 20, (2012)
4. 形本静夫, 手島敏光, 大原寛一, 岸本直樹, 中務博司, 村出真一郎, 河合祥雄, 広沢正孝. 2011年度の指導概要について. 順天堂スポーツ健康科学研究第3巻 Supplement: 63-65, (2012)
5. 形本静夫. 大学院学術研究集会 (第2回) 報告. 順天堂スポーツ健康科学研究第3巻 Supplement: 82-83, (2012)

#### ④

〔国際 (海外) 学会発表〕

1. Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N,

- Sugiura T, Katamoto S. **Effects of Combination of Heat Stress and Intermittent Weight-bearing on Disuse Muscle Atrophy and Intracellular Signal in Unloaded Rat Soleus Muscle**. The 20th International Congress on Sports Sciences for Students, Budapest, Hungary, 2012年4月
2. Ozaki Hayao, Naito Hisashi, Kobayashi Hiroyuki, Kakigi Ryo, Sekine-Ichinoseki Noriko, Yoshihara Toshinori, Kitada Tomoharu, Nakajima Toshiaki, Abe Takashi, **Katamoto Shizuo**. **The effects of walking and blood flow restriction on mTOR signaling in young men**. The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, Sanfrancisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S246, 2012.
  3. Nakagata T, Naito H, Kobayashi H, **Katamoto S**. **The effect of nicotine on cardiorespiratory responses and energy expenditure during exercise**. The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, Sanfrancisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S883-884, 2012.
  4. Tomoharu Kitada, Hisashi Naito, Yoshito Konno, **Shizuo Katamoto**. **Interaction among VO<sub>2</sub> kinetics, acid-base status and running speed during on-track 800-m running**. The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, Sanfrancisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S785, 2012.
  5. Tsuzuki T, Kobayashi H, Yoshihara T, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Naito H, **Katamoto S**. **Exercise training improves glucose tolerance in type 2 diabetic rats regardless elevation of body temperature**. The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, Sanfrancisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S593, 2012.
  6. Tsuzuki T, Kobayashi H, Yoshihara T, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Naito H, **Katamoto S**. **Effects of training without elevation of body temperature on lipid profiles in OLETF rat**. 15th International Biochemistry of Exercise Conference, Stockholm, Sweden, 2012年6月
  7. Nakagata T, Murade S, Fukao K, **Katamoto S**, Naito H. **Work Intensity And Energy Expenditure Of Enduro-Cycling Race In Recreational Cyclists**. 17th Annual Congress of the ECSS, Bruges, Belgium, 2012年7月
  8. Yoshihiko Ishihara, Hisashi Naito, **Shizuo Katamoto**, Masafumi Yoshimura. **Characteristics of match activity in Japanese soccer referees**. 17th Annual Congress of the ECSS, Bruges, Belgium, 2012年7月
- [国内学会発表]
1. 吉原利典, 内藤久士, 柿木 亮, 関根紀子, 都築孝允, 杉浦崇夫, **形本静夫**. **温熱負荷がラット骨格筋の細胞内シグナル伝達に及ぼす影響**. 第154回日本体力医学会関東地方会, 平塚, 2012年3月
  2. 宮原祐徹, 内藤久士, **形本静夫**. **静的ストレッチングおよびバリスティックストレッチングが筋力発揮に及ぼす影響**. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 724, (2012)
  3. 佐賀典生, 内藤久士, **形本静夫**, 蛭間栄介, 松下降. **温浴による処置が伸張性運動後の筋損傷・筋痛に及ぼす影響**. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 746, (2012)
  4. 坂本彰宏, 内藤久士, **形本静夫**. **過換気が繰り返しスプリントパフォーマンスに及ぼす効果**. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 675, (2012)
  5. 柿木 亮, 内藤久士, **形本静夫**, 小林裕幸, 深尾宏祐, 都築孝允, 岡田隆夫. **短時間のランニングおよび自転車運動が血中 Hsp72 濃度に及ぼす影響**. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 614, (2012)
  6. 尾崎隼朗, 内藤久士, 小林裕幸, 柿木 亮, 関根紀子, 吉原利典, **形本静夫**. **歩行運動中の血流制限が mTOR 及び MAPK シグナル伝達経路に及ぼす影響**. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 673, (2012)
  7. 中瀬 崇, 内藤久士, **形本静夫**. **ニコチンパッチ貼付時の運動中の呼吸循環器応答**. 第67回日本体力医学会大

- 会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 599, (2012)
8. 吉原利典, 関根紀子, 内藤久士, 柿木 亮, Scott K. Powers, 杉浦崇夫, 形本静夫. 熱ストレス負荷が機械的人工換気に誘発される横隔膜の萎縮に及ぼす影響. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 591, (2012)
  9. 石原美彦, 内藤久士, 形本静夫, 吉村雅文. ユース年代の試合中におけるサッカー審判員の運動強度. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 599, (2012)
  10. 大場美那貴, 形本静夫, 鈴木大地, 内藤久士. やや強くの主観的強度による30分間×週2回のサイクリングが一般成人男性の有酸素能および血液生化学的変量に及ぼす影響. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 683, (2012)
  11. 都築孝允, 小林裕幸, 内藤久士, 形本静夫. 運動トレーニング時の体温上昇が2型糖尿病ラットの耐糖能に及ぼす影響. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 629, (2012)
  12. トウホウウ, 内藤久士, 形本静夫. 中国における肥満児の身体活動量に関する研究. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 693, (2012)
  13. 仲間孝大, 形本静夫, 内藤久士. 最大乳酸定常状態の簡易的な推定法の検討. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 675, (2012)
  14. 高嶺由梨, 内藤久士, 形本静夫. 自発走トレーニングがラットの血中骨形成マーカーおよび血中レプチンに及ぼす影響. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 597, (2012)
  15. 中村智洋, 内藤久士, 形本静夫. 大学生スプリンターにおける ACTN3 遺伝子型と無酸素パワーとの関連性. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 720, (2012)
  16. 川上恭司郎, 中本英子, 形本静夫, 後藤佐多良. ラット腎臓におけるヒストン修飾および遺伝子発現に対する加齢と長期食餌制限の影響. 第85回日本生化学会大会, 福岡, 2012年12月
  17. 高嶺由梨, 形本静夫, 内藤久士. 自発走トレーニングがラットの血中レプチンおよび骨代謝に及ぼす影響. 第55回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟), 2012年2月
  18. 中村智洋, 内藤久士, 形本静夫. ACTN3 遺伝子型とスプリンターの無酸素パワーとの関連性. 第55回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟), 2012年2月
- ⑤
1. 形本静夫. 永年勤続者表彰式謝辞. 順天堂だより 266: 54-55, 2012年9月
  2. 形本静夫. 再任のご挨拶. 啓友 第47号: 7-8, 2012年8月
- ⑥ 形本静夫. 「スポーツ健康科学から見たサイクリングの効用と楽しみ方. 千葉県サイクリング協会第3回サイクリングカレッジ, 2012. 2, ちばりんりん 73, 2012年3月
- 河合 祥雄
- ①
1. Kawai S: Pathology of Takotsubo (Ampulla) Cardiomyopathy Josef Veselka ed. "Cardiomyopathies - From Basic Research to Clinical Management", InTech-Open Access Publisher, Rijeka, Croatia, pp 709-726, 2012. 2012年2月15日
  2. 河合祥雄: 臓器肉眼所見の取り方 心臓刺激伝導系 深山正久, 船田信顕, 黒田誠編集「病理解剖マニュアル」病理と臨床, 臨時増刊号 30巻
  3. 執筆ならびに監修「最新ダイビング用語辞典 安全管理, 活動の実例から医学, 教育情報まで」眞野喜洋, 河合祥雄ほか監修, 水中科学協会編, 執筆 「最新ダイビング用語辞典」, 成山堂, 2012. 12. 28
- ② Oigawa T, Suzuki H, Sunnayama A, Kawai S, Daida H: Increased expression of oxidative stress in proliferated vascular smooth muscle cells in early stage of human restenosis af-

ter coronary angioplasty. 順天堂医学 58(1) 35-50, 2012

③森詩穂美, 木村洋介, 河合祥雄: 2011年度さくらキャンパス全学生飲酒意識調査 — 順天堂大学さくらキャンパスにおける飲酒問題を考える基礎資料として— 順天堂スポーツ健康科学研究, 第3巻4号(通巻62号) 224-234, 2012.

④

1. 河合祥雄: たこつぼ心筋症発症仮説の病理形態学的検討. 日本心臓病学会—日本核医学会ジョイントシンポジウム(日本心臓病学会学術集会, 会長井上博), 座長山崎純一, 川名正敏.

2. 染谷由希, 藤田淑香, 河合祥雄, 丸井英二, 代田浩之: 医学, 体育大学卒業生の中高年期における死亡率, 疾病と生活習慣. 第76回日本循環器学会総会学術集会, 福岡マリンメッセ. 2012. 3. 18

3. 河合祥雄, 長谷川めぐみ, 里村隆気, 石原智美, 染谷由希, 関根紀子: 浮心位置を脚側に移動させた際の「けのび動作」のパフォーマンスに与える影響. 第15回水と健康医学研究会, 如水会館, 東京, 座長加藤秋成. 平成24年6月2日

4. 河合祥雄, 鈴木宏昌, 芦田映直, 高遠哲也, 藤井潤: たこつぼ心筋症発症仮説の病理形態学的検討. 第60回日本心臓病学会学術集会, 会長井上博, 座長村上弘則, 猪俣孝元. 2012. 9. 15

5. Someya Y, Kawai S, Saga N, Kohmura Y, Aoki K, Marui E, Daida H.: A low level of cardiorespiratory fitness during college-age is a precursor of adult-onset diabetes mellitus. 48th Annual Meeting of EASD (European Association for the Study of Diabetes), Andreas F. H. Pfeiffer, Berlin, Germany. 2012. 10. 4

6. 重野利彰, 河合祥雄, 染谷由希: 体育系大学生における異常J波出現率は非体育系大学生に比して高くない. 第60回日本心臓病学会学術集会, 会長井上博, 座長渡辺昌文. 2012. 9. 15

7. 河合祥雄, 田代 剛, 遠矢英憲: 安全スノーケリングを目的としたスノーケル講習教程の開発と評価. 第23回

日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜, 新横浜プリンスホテル, 座長大庭治雄. 2012. 11. 4

8. 重野利彰, 河合祥雄, 染谷由希: 体育系大学生における早期再分極有所見率は非体育系大学生に比して高くない第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜, 新横浜プリンスホテル, 座長大庭治雄. 2012. 11. 4

9. 佐賀典生, 河合祥雄: 自転車運動における運動強度の違いが脳酸素動態に及ぼす影響. 順天堂スポーツ健康科学研究 3 (Supplement): 16, 2012.

⑤河合祥雄: たこつぼ心筋症の確定診断には心血管MRIが有用. MMJ 8(1)通巻70号, 24-25, 2012

⑥

1. 河合祥雄: 「ダイバーの為の最新安全・健康管理について. 平成24年度 公認スクーバ・ダイビング指導員研修会, 財団法人 社会スポーツセンタースクーバ・ダイビング指導者育成委員会, 名古屋港ポートビル B会議室. 平成24年4月15日(日) 13:00-15:00

2. 河合祥雄: スポーツ指導者に必要な医学的知識 I. 平成24年度千葉県社会体育公認指導者等養成講習会, 千葉県総合スポーツセンター, スポーツ科学センター, 千葉県教育委員会(千葉県教育庁教育振興部体育課スポーツ振興室). 2012. 6. 30

3. 河合祥雄: 運動と内科的障害(急性期・慢性期). 日医認定健康スポーツ医学講習会(後期I)(座長 塩野潔) 埼玉県医師会 地域医療課 埼玉県医師会館5階大会場. 2012年. 10. 28

4. 河合祥雄: メタボをものともしない運動療法とそのチェックポイント. とちぎ県民健康フォーラム〜生活習慣病の食事療法と運動療法〜(座長 五味潤秀幸)とちぎ健康の森 講堂. 平成24年12月2日(日)

桜庭 景植(櫻庭 景植)

①

1. 桜庭景植; TEXT 整形外科 改訂4版. 糸満盛憲, 佐藤啓二, 高橋和久, 吉矢晋一編集. 分担執筆, p; 405-410, 筋・腱の損傷, 南山堂, 東京, 2012

2. 桜庭景植; 運動器診療 最新ガイドライン, 分担執筆; 下腿疲労骨折の診断・治療指針, p678-680, 中村耕三編集, 総合医学社, 東京, 2012
  3. 石島旨章, 桜庭景植, 金子和夫; 運動器の痛み プライマリーケア, 膝・大腿部の痛み, 分担執筆; 理学・運動療法. P-129-136, 菊地臣一編集, 南江堂, 2012
  4. 前澤克彦, 桜庭景植: III-2 ランニング量からみた障害発生. ランニング障害のリハビリテーションとリコンディショニング, 増田雄一編集, 文光堂: 52-56, 2012
  5. 医学教育ビデオ 英語  
Keishoku Sakuraba: Visual Basic Medicine 2<sup>nd</sup> Edition. Vol5 Skeletal and Muscle System, Supervisor Keishoku Sakuraba, J Hurly Myers (Professor Emeritus, Southern Illinois Univ.), Institute of A-V Medical Education Inc, 2012
- ②  
〔原著〕
1. TOMOMI HIRAO<sub>1</sub>, NATSUE KOIKAWA<sub>1</sub>, KAZUHIRO AOKI<sub>1</sub>, KEISHOKU SAKURABA<sub>1</sub>, YUKI SHIMMURA<sub>2</sub>, YOSHIO SUZUKI<sub>1</sub> and KEISUKE SAWAKI<sub>1</sub>:  
Female distance runners show a different response to post-workout consumption of wheat gluten hydrolysate compared to their male counterparts  
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 3: 641-644, 2012
  2. KAZUHIRO AOKI<sub>1</sub>, YOSHIMITSU KOHMURA<sub>1</sub>, YOSHIO SUZUKI<sub>2</sub>, NATSUE KOIKAWA<sub>1</sub>, MASAFUMI YOSHIMURA<sub>2</sub>, YUKIHIRO AOBA<sub>1</sub>, NORIFUMI FUKUSHI<sub>1</sub>, KEISHOKU SAKURABA<sub>2</sub>, ISAO NAGAOKA<sub>3</sub> and KEISUKE SAWAKI<sub>1</sub>;  
Post-training consumption of wheat gluten hydrolysate suppresses the delayed onset of muscle injury in soccer players  
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 3: 969-972, 2012
  3. Kenta Wakamatsu, Keishoku Sakuraba, Yoshio Suzuki, Asako Maruyama, Yosuke Tsuchiya, Jiro Shikakura, Eisuke Ochi;  
Association between the stress fracture and bone metabolism/quality markers in lacrosse players.  
Open Access J Sports Medicine, 3: 67-71, 2012
  4. Yukinori Nakajima, Kimitaka Kaga, Hideki Takekoshi, Keishoku Sakuraba;  
Evaluation of vestibular and dynamic visual acuity in adults with congenital deafness.  
Perceptual & Motor Skills: Physical Development & Measurement 115(2); 503-511, 2012.
  5. 高梨雄太, 鈴木良雄, 青木和浩, 鯉川なつえ, 新村由記, 桜庭景植, 金子今朝秋;  
小麦グルテン加水分解物 (WGH) は投擲競技者のウェイトトレーニングにおける筋損傷を軽減するか?  
Effect of WGH intake of WGH on throwers' weight training.  
日本臨床スポーツ医学会誌, 20(1): 66-71, 2012
  6. 戸塚涼子, 桜庭景植, 窪田敦之: 間欠的加圧による血流制限が廃用性筋萎縮および筋力低下に及ぼす影響.  
The effects of Intermittent Blood Flow Restriction on Muscle Atrophy and Weakness by Immobilization and No Weight Bearing. 日本臨床スポーツ医学会誌. 20(1): 130-137, 2012
  7. 窪田敦之, 桜庭景植, 小倉裕司, 藤田真平, 鈴木大地, 鈴木良雄, 洪 定男, 鹿倉二郎;  
血流制限下で行う他動的運動が筋力および筋横断面積に及ぼす影響~大学男子水泳競技者の下肢筋力を中心に~  
Effects of Passive Exercise with Blood Flow Restriction on the Muscle Cross-sectional Area and Strength in Male College Swimmers  
日本臨床スポーツ医学会誌, 20(3); 563-569, 2012.
  8. 島 寿子, 仲村 明, 長門俊介, 澤木啓祐, 鈴木良雄, 桜庭景植; 陸上長距離選手のコンディション指標の検討. 臨床検査 56(4): 446-450, 2012
  9. 佐藤照友旭, 桜庭景植, 若松健太, 土屋陽祐, 越智英輔; 大学男子スキー選手の骨代謝及び骨質に関する研究.  
A study of bone metabolism makers and bone quality markers in collegiate male skiers.  
日本スキー学会 スキー研究 9(1); 25-28, 2012.

## 〔総説〕

1. 桜庭景植：スポーツ障害・外傷とリハビリテーション。陸上競技。J Clin Rehab, 21(2): 174-182, 2012
2. 桜庭景植, 長沼裕太, 窪田敦之, 中嶽 誠, 鹿倉二郎, 倉石 平; 学校スポーツにおける外傷・障害診療ガイド; バスケットボールにおける足関節捻挫。臨床スポーツ医学臨時増刊号, v 29; 66-74, 2012

## ④

## 〔国際発表〕

1. KUBOTA, A., SAKURABA, K., FUJIMINE, S., FUJITA, S, OGURA, Y., KOH, S., NAKADAKE, M., SHIKAKURA, J.; Low Intensity Eccentric Exercise with Blood Flow Restriction Improves Eccentric Strength without Muscle Soreness. 17<sup>th</sup> ECSS (European College Sport Science) Congress, 4-7, July, Bruges, Belgium, 2012
2. Yosuke Tsuchiya, Keishoku Sakuraba, Teruyuki Sato, Kenta Wakamatsu, Eisuke Ochi ; Effect of eccentric contractions of elbow flexor on bone metabolism. International Osteoporosis Foundation -3rd Asia-Pacific Osteoporosis Meeting Kuala Lumpur, Malaysia, December 15, 2012
3. Teruyuki Sato,, Keishoku Sakuraba, Yosuke Tsuchiya, Kenta Wakamatsu 1Eisuke. Ochi A study of bone metabolism markers and bone quality markers in collegiate male skiers. International Osteoporosis Foundation - 3rd Asia-PacificOsteoporosis Meeting, Kuala Lumpur, Malaysia, December 15, 2012
4. Kenta Wakamatsu, Keishoku Sakuraba, Yoshio Suzuki, Yosuke Tsuchiya, Eisuke Ochi. Association Between The Stress Fracture And Bone Metabolism/quality Markers In Lacrosse Players. American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting. 2012. 5. San Francisco.

## ⑥

## 〔シンポジウム, パネルディスカッション〕

1. 桜庭景植; 陸上競技による外傷・障害 JOSSM 日本整形外科スポーツ医学会セミナー, 弘前大学, 青森市,

8月25日, 2012

2. 桜庭景植; 女子長距離ランナーと骨粗鬆症・疲労骨折, 第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 11月3日, 2012  
日本臨床スポーツ医学会誌, 20(4); s131, 2012
3. 順天堂大学スポーツ健康科学部 ワークショップ; 大学スポーツにおける医科学サポート ～ロンドンオリンピックの参加報告を含めて～.  
12月1日, 順天堂大学, 千葉, 2012年

## 〔国内発表〕

1. 小山孟志, 桜庭景植, 吉本完明, 小山孟志, 國友亮佑, 小林 唯, 陸川 章 (関東大学バスケットボール連盟); 大学男子バスケットボール選手の体力特性～関東大学バスケットボール連盟におけるフィジカル測定報告～.  
第63回日本体育学会, 8月22-24日, 神奈川, 2012
2. 山崎諭弘, 島 寿子, 仲村 明, 長門俊介, 鯉川なつえ, 澤木啓祐, 櫻庭景植, 鈴木良雄; 陸上長距離選手のコンディション指標の検討  
第67回日本体力医学会, 岐阜市, 9月14-16日, 2012年  
体力科学 61(6); 616, 2012.
3. 伴 好彦, 木村瑞生, 桜庭景植, 米田継武; 力速度課題下で随伴する皮膚コンダクタンス反応について  
第67回日本体力医学会, 岐阜市, 9月14-16日, 2012年  
体力科学 61(6); 561, 2012.
4. 金子雅明, 桜庭景植, 鹿倉二郎, 大島基紀, 岡崎倫江, 柿崎藤泰; 大腿骨前捻角が片脚着地動作時の関節動態および関節モーメントに及ぼす影響。  
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 11月3日, 2012  
日本臨床スポーツ医学会誌, 20(4); s151, 2012
5. 村上幸士, 桜庭景植; 腰痛の有無において比較した腹横筋の深部への変化～腹側および背側から撮像した超音波画像を用いて～  
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 11月3

- 日, 2012  
日本臨床スポーツ医学会誌, 20(4); s168, 2012
6. 洪 定男, 桜庭景植, 窪田敦之, 大岐亮平, 佐久間和彦, 鹿倉二郎, 鈴木良雄;  
陸上短距離選手の腰痛に関する検討—体幹部筋横断面積と下肢筋力の非対称性について—  
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 11月3日, 2012  
日本臨床スポーツ医学会誌, 20(4); s168, 2012
7. 佐藤照友旭, 桜庭景植, 若松健太, 土屋陽祐, 越智英輔;  
大学男子スキー選手の骨代謝及び骨質に関する研究,  
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 11月3日, 2012  
日本臨床スポーツ医学会誌, 20(4); s195, 2012
8. 長沼裕太, 桜庭景植, 窪田敦之, 中嶽誠, 中新井田敦子, 門屋遙香, 倉石 平;  
大学男子バスケットボール競技者における第五中足骨疲労骨折の実態調査,  
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 11月3日, 2012  
日本臨床スポーツ医学会誌, 20(4); s204, 2012
9. 橋本貴幸・桜庭景植; 足部内在屈筋筋力トレーニングによるアーチ形成効果について  
～トレーニング前後における縦アーチ長と横アーチ長の比較～  
第47回日本理学療法学会学術大会, 平成24年5月25(金)–27(日), 神戸, 2012.
10. 橋本貴幸・桜庭景植・矢口春木; 長母趾屈筋と長趾屈筋の腱連結評価と足趾運動に及ぼす影響について  
第21回整形外科リハビリテーション学会学術集会, 平成24年9月22日(土)–23(日), 愛知, 2012.
11. 草野誓也, 佐久間和彦, 桜庭景植, 窪田敦之, 藤田真平;  
大学男子短距離競技者における体幹部筋形態および股関節周囲の筋力との関係.  
第10回日本陸上競技学会, 12月10–11日, 神奈川, (東海大学), 2011.
12. 小野学, 佐久間和彦, 桜庭景植, 窪田敦之, 藤田真平;  
陸上競技110 m 障害走者の「ウォーミングアップ」におけるストレッチング方法の有効性に関する検討.  
第10回日本陸上競技学会, 12月10–11日, 神奈川, (東海大学), 2011.
13. 大岐亮平, 佐久間和彦, 桜庭景植, 洪 定男, 窪田敦之, 藤田真平;  
腰痛を有する大学陸上競技者の特性～体幹部筋断面積および下肢筋力に着目して～  
第10回日本陸上競技学会, 12月10–11日, 神奈川, (東海大学), 2011.
- 〔講演〕
1. 桜庭景植; スポーツ現場での救急処置 (整形外科的立場から), 日本体育協会公認スポーツドクター講習会, 東京, 1月15日, 2012
2. 桜庭景植; スポーツ現場での救急処置 (整形外科的立場から) 日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会, 1月21日, 2012
3. 桜庭景植; 地域・職場で役に立つ運動療法の実際, 墨田区医師会産業医研修会, 1月29日, 東京, 2012
4. 桜庭景植; スポーツ外傷・障害の基礎知識; 下肢・下腿, 日本体育協会公認アスレチックトレーナー養成講習会 1月29日 東京, 2012
5. 桜庭景植; スポーツ行事と安全管理～現場における救急処置～  
日本体育協会公認スポーツドクター講習会, 東京, 2月19日, 2012
6. 桜庭景植; 運動障害と予防 外科的傷害 上肢, 健康運動指導士養成講習会, 2月22日, 東京, 2012
7. 桜庭景植; 中高齢者の運動療法. 第14回「ゆ～ゆ～健康講座」, 5月13日, 静岡, 2012.
8. 桜庭景植; スポーツ現場・職場における応急処置と実習 (実技). 東京都医師会第21回健康スポーツ医学研修会, 5月26日, 東京, 2012

9. 桜庭景植；上肢の傷害～救急処置を含めて～  
関東大学バスケット連盟講演会，6月23日，東京，2012
10. 桜庭景植；トップアスリートへの医科学サポート～  
長距離選手の外傷・障害，競技力向上を中心に～  
第8回 最成病院 医療連携の会，6月27日，千葉，2012
11. 桜庭景植；加圧式血流制限の筋肉に対する効果～  
下肢筋力，筋萎縮軽減を中心に～  
西多摩整形外科医会（骨・関節シンポジウム），7月7日，東京，2012
12. 桜庭景植；チーム「ニッポン」を支えたスポーツド  
クターたち。～陸上競技を中心に～ オリンピック村内  
での活動。  
第8回筑波スポーツ医学セミナー，9月1日 筑波，  
2012
13. 桜庭景植；トップアスリートの医科学サポート～  
ロンドンオリンピックにおける医科学サポート～  
第23回東三河整形外科医会 教育研修講演会，11月17日  
豊橋市，2012
14. 桜庭景植；スポーツ現場での救急処置，日本医師会  
認定健康スポーツ医学講習会，12月16日，2012

## 〔研究費〕

ネスレ栄養科学研究助成金；鈴木良雄，桜庭景植，仲村  
明，長門俊介，鯉川なつえ，小林唯；大学陸上長距離選  
手の栄養充足状態および競技能力の客観指標の探索。  
100万円，2012

受託研究；熱中症対策キットの基礎および臨床研究。  
桜庭景植，丸山麻子，シンネットワーク  
100万円

受託研究；ヨネックス新製品・新素材開発に関する基礎  
研究。  
桜庭景植；ヨネックス株式会社，100万円

チーム「ニッポン」マルチサポート事業（※文部科学省  
の事業名称）：順天堂大学・筑波大学共同研究題目：競  
技力向上に向けた高圧・低高酸素トレッドミルの実践的  
試行について

研究期間：平成22年9月1日から平成24年3月31日（平  
成24年度は継続予定）

研究費（直接経費及び間接経費含む）：2千5百万円  
（平成22年度），3千146万円（平成23年度）平成24年度  
未定

研究担当者：（平成22年度）

澤木 啓祐（順天堂大学・特任教授，研究総括責任者）

形本 静夫（順天堂大学スポーツ健康科学部・教授）

櫻庭 景植（順天堂大学スポーツ健康科学部・教授）

鹿倉 二郎（順天堂大学スポーツ健康科学部・教授）

青木 和浩（順天堂大学スポーツ健康科学部・准教授）

鯉川なつえ（順天堂大学スポーツ健康科学部・准教授）

柳谷登志雄（順天堂大学スポーツ健康科学部・准教授）

石井好二郎（順天堂大学スポーツ健康科学部・客員教授）

杉田 正明（順天堂大学スポーツ健康科学部・客員准教  
授）

木藤 友規（順天堂大学スポーツ健康科学部・助教）

尾懸 貢（筑波大学 大学院人間総合科学研究科・教  
授，研究総括責任者）

向井 直樹（筑波大学大学院人間総合科学研究科・准教  
授）

（平成23年度）

澤木 啓祐（順天堂大学・特任教授，研究総括責任者）

形本 静夫（順天堂大学スポーツ健康科学部・教授）

櫻庭 景植（順天堂大学スポーツ健康科学部・教授）

鹿倉 二郎（順天堂大学スポーツ健康科学部・教授）

青木 和浩（順天堂大学スポーツ健康科学部・准教授）

鯉川なつえ（順天堂大学スポーツ健康科学部・准教授）

柳谷登志雄（順天堂大学スポーツ健康科学部・准教授）

石井好二郎（順天堂大学スポーツ健康科学部・客員教授）

杉田 正明（順天堂大学スポーツ健康科学部・客員准教  
授）

木藤 友規（順天堂大学スポーツ健康科学部・助教）

阿江 通良（筑波大学体育専門学群学群長・教授，研究  
総括責任者）

向井 直樹（筑波大学大学院人間総合科学研究科・准教  
授）

河合 康明（鳥取大学医学部・教授，研究協力者）

松尾 聡（鳥取大学医学部・教授，研究協力者）

## 〔チームドクター活動〕

1. 順天堂大学バスケットボール部  
男子 リーグ戦 2部 10位



女子 トーナメント ベスト6位 リーグ戦 1部 10位

2. 順天堂大学陸上部
3. 箱根駅伝 7位
4. トヨタ自動車バスケットボール部 オールジャパン優勝(5年ぶり) リーグ戦
5. 明治大学ラグビー部
6. 佐倉アスリートクラブ ユニバーサルエンターテインメント
7. 富士通 陸上部 実業団優勝 ニューイヤー駅伝
8. ロンドンオリンピック 帯同

## 鹿倉 二郎

①わかる！スポーツ傷害 病態理解と復帰へのHow to：はじめに，pp. 6-13，福林 徹，鹿倉二郎監訳，南江堂，2012年4月。(BMA Medical Association: The BMA Guide to Sports Injuries. Dorling Kindersley Limited, 2010.)

②

1. 窪田敦之，桜庭景植，小倉裕司，藤田真平，鈴木大地，鈴木良雄，洪 定男，鹿倉二郎：血流制限下で行う他動的運動が筋力および筋横断面積に及ぼす影響～大学男子水泳競技者の下肢筋力を中心に～. 日本臨床スポーツ医学会誌，20: 563-569, 2012.
2. Kenta Wakamatsu, Keishoku Sakuraba, Yoshio Suzuki, Asako Maruyama, Yosuke Tsuchiya, Jiro Shikakura, Eisuke Ochi: Association between the stress fracture and bone metabolism/quality markers in lacrosse players. Open Access Journal of Sports Medicine, 3: 67-71, 2012.

④

1. 金子雅明，桜庭景植，鹿倉二郎，大島基紀，岡崎倫江，柿崎藤泰：大腿骨前捻角が片脚着地時動作の関節動態および関節モーメントに及ぼす影響. 第23回日本臨床

スポーツ医学会学術集会.

2. 洪 定男，桜庭景植，窪田敦之，大岐亮平，佐久間和彦，鹿倉二郎，鈴木良雄：陸上短距離選手の腰痛に関する検討—体幹部筋横断面積と下肢筋力の非対称性について. 第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会.

## 内藤 久士

②

1. Koyama K, Naito H, Ozaki H, Yanagiya T. **Effects of unstable shoes on energy cost during treadmill walking at various speeds.** J Sports Sci Med. 11: 632-637 (2012)
  2. Ishii H, Yanagiya T, Naito H, Katamoto S, Maruyama T. **Theoretical study of factors affecting ball velocity in instep soccer kicking.** J Appl Biomech. 28(3): 258-70 (2012)
  3. Kurosaka M, Naito H, Ogura Y, Machida S, Katamoto S. **Satellite cell pool enhancement in rat plantaris muscle by endurance training depends on intensity rather than duration.** Acta Physiol (Oxf). 205(1): 159-66 (2012)
  4. Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Kakigi R, Ogura Y, Sugiura T, Naito H. **Fiber-type specific expression of <math>\alpha</math>-actinin isoforms in rat skeletal muscle.** Biochem Biophys Res Commun. 419(2): 401-4 (2012)
  5. Radak Z, Naito H, Taylor AW, Goto S. **Nitric oxide: Is it the cause of muscle soreness?** Nitric Oxide. 26(2): 89-94 (2012)
  6. Naito H, Yoshihara T, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Tsuzuki T. **Heat stress-induced changes in skeletal muscle: heat shock proteins and cellular signaling transduction.** J Phys Fitness Sports Med. 1(1), 125-131 (2012)
- ③
1. 佐賀典生，内藤久士，形本静夫. 温熱処置と伸張性運動を組み合わせたトレーニングが筋痛・筋損傷に及ぼす影響. デザントスポーツ科学 33: 127-135 (2012)
  2. 平成23年度 体力・運動能力調査報告書 (内藤久士，

廣津信義, 関根紀子他). 文部科学省 (2012)

3. 子どもの体力向上のための取組ハンドブック (全国体力・運動能力, 運動習慣等調査検討委員会). 文部科学省 (2012)
4. 幼児期運動指針ガイドブック (幼児期運動指針策定委員会) 文部科学省幼児期運動指針策定委員会 (2012)

④

[国際 (海外) 学会発表]

1. Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Sugiura T, Katamoto S. **Effects of Combination of Heat Stress and Intermittent Weight-bearing on Disuse Muscle Atrophy and Intracellular Signal in Unloaded Rat Soleus Muscle.** The 20th International Congress on Sports Sciences for Students, Budapest, Hungary, 2012年4月
2. Sakamoto A, Naito H. **Hyperventilation-induced alkalosis as a strategy for improved intermittent sprint performance.** The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, San Francisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S913, 2012.
3. Kakigi R, Ozaki H, Miura S, Kobayashi H, Yoshihara T, Ichinoseki-Sekine N, Tsuzuki T, Naito H. **Effects of Whey Peptide Ingestion after Resistance Exercise on mTOR Signaling in Human Skeletal Muscle.** The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, San Francisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S247, 2012.
4. Ozaki H, Naito H, Kobayashi H, Kakigi R, Sekine-Ichinoseki N, Yoshihara T, Kitada T, Nakajima T, Abe T, Katamoto S. **The effects of walking and blood flow restriction on mTOR signaling in young men.** The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, San Francisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S246, 2012.
5. Nakagata T, Naito H, Kobayashi H, Katamoto S. **The effect of nicotine on cardiorespiratory responses and energy expenditure during exercise.** The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, San Francisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S883-884, 2012.
6. Yoshihara T, Sugiura T, Naito H. **Signaling Responses In Unloaded Rat Soleus Muscle To Combination Of Heat Stress And Intermittent Reloading.** The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, San Francisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S694, 2012.
7. Kitada T, Naito H, Konno Y, Katamoto S. **Interaction among VO<sub>2</sub> kinetics, acid-base status and running speed during on-track 800-m running.** The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, San Francisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S785, 2012.
8. Tsuzuki T, Kobayashi H, Yoshihara T, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Naito H, Katamoto S. **Exercise training improves glucose tolerance in type 2 diabetic rats regardless elevation of body temperature.** The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, San Francisco, USA, 2012年5月, Med Sci Sports Exerc. 44: 5 supplement, S593, 2012.
9. Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Kakigi R, Ogura Y, Sugiura T, Naito H. **Expression of <math>\alpha</math>-actinin-3 protein of hybrid I/IIa fibers in rat skeletal muscle.** 15th International Biochemistry of Exercise Conference, Stockholm, Sweden, 2012年6月
10. Kakigi R, Ozaki H, Miura S, Kobayashi H, Yoshihara T, Ichinoseki-Sekine N, Tsuzuki T, Naito H. **Whey protein ingestion after exercise decreases LC3-II expression in human muscle.** 15th International Biochemistry of Exercise Conference, Stockholm, Sweden, 2012年6月
11. Tsuzuki T, Kobayashi H, Yoshihara T, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Naito H, Katamoto S. **Effects of training without elevation of body temperature on lipid profiles in OLETF rat.** 15th International Biochemistry of Exercise Conference, Stockholm, Sweden, 2012年6月
12. Deng P, Naito H, Sakamoto A. **Physical Activity of**

**Chinese Children.** Conference for the Third China's Nation Physical Fitness Surveillance (CNPFS) & International Seminar of Physical Fitness Research, Macao, 2012年6月

13. Nakagata T, Murade S, Fukao K, Katamoto S, Naito H. **Work Intensity And Energy Expenditure Of Enduro-Cycling Race In Recreational Cyclists.** 17th Annual Congress of the ECSS, Bruge, Belgium, 2012年7月
14. Ishihara Y, Naito H, Katamoto S, Yoshimura M. **Characteristics of match activity in Japanese soccer referees.** 17th Annual Congress of the ECSS, Bruge, Belgium, 2012年7月
15. Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Kakigi R, Sugiura T, Powers SK, Kawai S, Naito H. **Effects of heat stress on diaphragmatic atrophy induced by 12 h mechanical ventilation in rat.** 2012 APS Intersociety Meeting: The Integrative Biology of Exercise-VI, Westminster, Colorado, USA, 2012年10月
16. Sakamoto A, Naito H. **Effects of hyperventilation on repeated isokinetic torque production and EMG of lower limbs.** be active 2012 Australian Conference of Science and Medicine in Sport, Sydney, 2012年10月

〔国内学会発表〕

1. 中村智洋, 内藤久士, 形本静夫. **ACTN3 遺伝子型とスプリンターの無酸素パワーとの関連性.** 第55回卒業論文・修士論文発表会 (日本女子体育連盟), 2012年2月
2. 小尾えりか, 内藤久士. **アルペンスキー選手のアクチニン3 遺伝子型に関する研究.** 第22回日本スキー学会, 岩手, 2012年3月
3. 柿木 亮, 関根紀子, 吉原利典, 都築孝允, 内藤久士. **温熱負荷がラット骨格筋の張力発揮に及ぼす影響.** 第154回日本体力医学会関東地方会, 平塚, 2012年3月
4. 吉原利典, 内藤久士, 柿木 亮, 関根紀子, 都築孝允, 杉浦崇夫, 形本静夫. **温熱負荷がラット骨格筋の細胞内シグナル伝達に及ぼす影響.** 第154回日本体力医学会関東地方会, 平塚, 2012年3月
5. 杉浦崇夫, 芝口 翼, 吉原利典, 後藤勝正, 内藤久士, 吉岡利忠. **代償性筋肥大によるミオスタチン, フォレストアチン, 筋衛星細胞の変化.** 第20回日本運動生理学会大会, つくば, 2012年7月
6. 棗 寿喜, 内藤久士, 内山秀一. **腰痛の有無による片足立位時の姿勢及び体幹筋活動量の違い.** 日本体育学会第63回大会, 平塚, 2012年8月
7. 小山桂史, 内藤久士. **Unstable shoes の着用が種々速度の歩行における酸素摂取量に及ぼす影響.** 第26回日本靴医学会学術集会, 東京, 2012年9月
8. 杉浦崇夫, 吉原利典, 後藤勝正, 内藤久士, 吉岡利忠. **筋損傷後の再生過程における温熱刺激がミオスタチン, フォリスタチン発現に及ぼす影響.** 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 588, (2012)
9. 関根紀子, 吉原利典, 柿木 亮, 杉浦崇夫, Powers SK, 河合祥雄, 内藤久士. **一過性の熱ストレス負荷がラット横隔膜萎縮筋へ及ぼす形態的・機能的影響.** 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 580, (2012)
10. 宮原祐徹, 内藤久士, 形本静夫. **静的ストレッチングおよびパリスティックストレッチングが筋力発揮に及ぼす影響.** 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 724, (2012)
11. 佐賀典生, 内藤久士, 形本静夫, 蛭間栄介, 松下隆. **温浴による処置が伸張性運動後の筋損傷・筋痛に及ぼす影響.** 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 746, (2012)
12. 坂本彰宏, 内藤久士, 形本静夫. **過換気が繰り返しスプリントパフォーマンスに及ぼす効果.** 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 675, (2012)
13. 柿木 亮, 内藤久士, 形本静夫, 小林裕幸, 深尾宏祐, 都築孝允, 岡田隆夫. **短時間のランニングおよび自転車運動が血中 Hsp72 濃度に及ぼす影響.** 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6):

- 614, (2012)
14. 尾崎隼朗, 内藤久士, 小林裕幸, 柿木 亮, 関根紀子, 吉原利典, 形本静夫. 歩行運動中の血流制限が mTOR 及び MAPK シグナル伝達経路に及ぼす影響. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 673, (2012)
  15. 中瀧 崇, 内藤久士, 形本静夫. ニコチンパッチ貼付時の運動中の呼吸循環器応答. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 599, (2012)
  16. 吉原利典, 関根紀子, 内藤久士, 柿木 亮, Scott K. Powers, 杉浦崇夫, 形本静夫. 熱ストレス負荷が機械的人工換気に誘発される横隔膜の萎縮に及ぼす影響. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 591, (2012)
  17. 石原美彦, 内藤久士, 形本静夫, 吉村雅文. ユース年代の試合中におけるサッカー審判員の運動強度. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 599, (2012)
  18. 大場美那貴, 形本静夫, 鈴木大地, 内藤久士. やや強くの主観的強度による30分間×週2回のサイクリングが一般成人男性の有酸素能および血液生化学的変量に及ぼす影響. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 683, (2012)
  19. 都築孝允, 小林裕幸, 内藤久士, 形本静夫. 運動トレーニング時の体温上昇が2型糖尿病ラットの耐糖能に及ぼす影響. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 629, (2012)
  20. 鄧 鵬宇, 内藤久士, 形本静夫. 中国における肥満児の身体活動量に関する研究. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 693, (2012)
  21. 仲間孝大, 形本静夫, 内藤久士. 最大乳酸定常状態の簡易的な推定法の検討. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 675, (2012)
  22. 高嶺由梨, 内藤久士, 形本静夫. 自発走トレーニングがラットの血中骨形成マーカーおよび血中レプチンに及ぼす影響. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 597, (2012)
  23. 中村智洋, 内藤久士, 形本静夫. 大学生スプリンターにおける ACTN3 遺伝子型と無酸素パワーとの関連性. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 720, (2012)
  24. 張碩文, 内藤久士. 台湾大学生における体力と睡眠習慣の関連性. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月, 体力科学 61(6): 703, (2012)
  25. 高嶺由梨, 形本静夫, 内藤久士. 自発走トレーニングがラットの血中レプチンおよび骨代謝に及ぼす影響. 第55回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟), 2012年2月
  26. 内藤久士. 大会基調講演: 次世代のトレーニングを考える〜トレーニングにおける温故知新〜. 第25回日本トレーニング科学会大会, 草津, 2012年12月
- 先任准教授**  
**鈴木 良雄**
- ①
    1. 鈴木良雄: 第1章と第3章の一部(分担執筆). 加藤秀夫, 中坊幸弘, 中村亜紀(編集). スポーツ・運動栄養学 第2版(栄養科学シリーズNEXTシリーズ), 講談社, 2012
    2. 鈴木良雄, 廣津信義. 基礎統計学(栄養科学シリーズNEXTシリーズ), 講談社, 全152頁, 2012
    3. 鈴木良雄, 澤木啓祐. 第10章 海外での利用と開発の動向. 矢澤一良(監修). 機能的スポーツフードの開発, シーエムシー出版, p. 89-98, 2012
  - ②
    1. Wakamatsu K, Sakuraba K, Suzuki Y, Maruyama A, Tsuchiya Y, Shikakura J, Ochi E. Association between the stress fracture and bone metabolism/quality markers in lacrosse players. Open Access Journal of Sports Medicine, 3: 67-71, 2012.

2. Aoki K, Kohmura Y, Suzuki Y, Koikawa N, Yoshimura M, Aoba Y, Fukushi N, Sakuraba K, Nagaoka I, Sawaki K. Post-training consumption of wheat gluten hydrolysate suppresses the delayed onset of muscle injury in soccer players. *Exp Ther Med*, 3(6): 969-972, 2012 (Doi: 10.3892/etm.2012.539)
  3. Hirao T, Koikawa N, Aoki K, Sakuraba K, Shimmura Y, Suzuki Y, Sawaki K. Female distance runners showed a different response to post-workout consumption of wheat gluten hydrolysate from the male counterpart. *Exp Ther Med*, 3(4): 641-644, 2012 (DOI: 10.3892/etm.2012.446)
  4. 窪田敦之, 櫻庭景植, 小倉裕司, 藤田真平, 鈴木大地, 鈴木良雄, 洪 定男, 鹿倉二郎. 血流制限化で行う他動的運動が筋力および筋横断面積に及ぼす影響～大学男子水泳競技者の下肢筋力を中心に～. *日本臨床スポーツ医学会誌* 20(3): 563-569, 2012
  5. 島 寿子, 仲村 明, 長門俊介, 澤木啓祐, 鈴木良雄, 櫻庭景植. 陸上長距離選手のコンディション指標の検討. *臨床検査* 56(4): 446-450, 2012
  6. 加治佐知子, 渡辺雅之, 太田 眞, 今西昭雄, 平田龍三, 安藤 隆, 清水智美, 佐藤健司, 鈴木良雄, 小林弘幸. 低強度, 長時間持続する運動時の炎症性サイトカインの動態と小麦グルテン加水分解物 Wheat Gluten Hydrolysate (WGH) 摂取による生態応答. *順天堂医学* 58: 161-167, 2012
  7. 高梨雄太, 鈴木良雄, 青木和浩, 鯉川なつえ, 新村由記, 桜庭景植, 金子今朝秋. 小麦グルテン加水分解物 (WGH) は投擲競技者のウェイトトレーニングにおける筋損傷を軽減するか? *日本臨床スポーツ医学会誌* 20(1): 66-71, 2012
- ④
1. Kenta Wakamatsu, Keishoku Sakuraba, Yoshio Suzuki, Yosuke Tsuchiya, and Eisuke Ochi. Association between the stress fracture and bone metabolism/quality markers in lacrosse players. 59th Annual Meeting American College of Sports Medicine, San Francisco, USA, 2012.5
  2. 佐伯歩実, 岡野双葉, 太田 眞, 渡辺雅之, 今西昭雄, 清水智美, 平田龍三, 鈴木良雄. 5時間走における血糖値および内分泌的指標の変動. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012. 9
  3. 山崎諭弘, 島 寿子, 仲村 明, 長門俊介, 鯉川なつえ, 澤木啓祐, 櫻庭景植, 鈴木良雄. 陸上長距離選手のコンディション指標の検討. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012. 9
  4. 永倉ゆか, 児玉千紘, 清水智美, 奥田美穂, 鯉川なつえ, 櫻庭景植, 鈴木良雄. 乳酸菌 H61 株含有ヨーグルトの継続摂取が若い女性の肌の状態に及ぼす影響. 第34回日本臨床栄養学会総会・第33回日本臨床栄養協会総会, 東京, 2012. 10
  5. 児玉千紘, 永倉ゆか, 清水智美, 奥田美穂, 鯉川なつえ, 櫻庭景植, 鈴木良雄. 乳酸菌 H61 株含有ヨーグルトの継続摂取が若い女性の血液指標等に及ぼす影響. 第34回日本臨床栄養学会総会・第33回日本臨床栄養協会総会, 東京, 2012. 10
  6. 沖田磨衣, 鯉川なつえ, 仲村 明, 鈴木良雄, 櫻庭景植, 澤木啓祐. 陸上競技者における乳酸菌 *Lactobacillus delbrukii ssp. bulgaricus* OLL1073R-1 の摂取が免疫力等に及ぼす影響. 日本陸上競技学会 第11回大会, 千葉, 2012. 10
- ⑥  
〔講演〕
1. グルテンペプチドの筋保護作用について. 第33回機能性食品用ペプチド研究会, 大阪, 2012. 3
  2. スポーツサプリメントの種類と目的別の有効活用法. 日本健康科学学会健康フォーラム, 東京, 2012. 3
  3. ドーピングとサプリメントを考える. 日本自転車普及協会 平成24年度第5回自転車セミナー, 東京, 2012. 11
- 廣津 信義
- ①基礎統計学 (栄養科学シリーズ NEXT), 鈴木良雄, 廣津信義, 講談社 (2012).

## ②

1. An evaluation of characteristics of J-league players using data envelopment analysis models. N. Hirotsu, H. Yoshii, Y. Aoba, M. Yoshimura. *Football Science*, 9, 1-13 (2012).
2. 箱根駅伝におけるシード権獲得と繰り上げスタートに関する確率計算. 廣津信義, 仲村 明, 金子今朝秋. 順天堂スポーツ健康科学研究, 3(4), 199-208 (2012).
3. ワールドベースボールクラシック (WBC) の対戦方式の確率計算による検討. 廣津信義, 須崎政文, 尾崎俊治. *オペレーションズ・リサーチ*, 57(11), 629-638 (2012).

③箱根駅伝予選会での予選通過に関する確率計算. 廣津信義, 仲村 明, 金子今朝秋. *オペレーションズ・リサーチ*, 57(1), 5-10 (2012).

## ④

1. An extension of the FDH model for measuring efficiency of a set of DMUs. N. Hirotsu and T. Ueda. *DEA (Data Envelopment Analysis) Symposium 2012 (Tokyo)*. 平成24年2月21日. *Proceedings of DEA Symposium 2012*, 141-148 (2012).
2. Probability calculation for tournament format of World Baseball Classic. N. Hirotsu and M. Suzaki. *INFORMS2012 (Institute for Operations Research and the Management Sciences Annual Meeting 2012) (Phoenix, USA)*. 平成24年10月15日. *Proceedings of INFORMS2012*, 173 (2012).
3. 箱根駅伝での予選通過とシード権獲得に関する確率計算. 廣津信義, 仲村 明, 金子今朝秋. 2012年日本OR学会春季研究発表会 (横須賀). 平成24年3月28日. 2012年日本OR学会春季研究発表会アブストラクト集, 150-151 (2012).
4. 野球の無死一塁での「送りバント」が有効となる場面の確率計算—バント成功確率・打撃確率・得点差・インニングと勝つ確率の増加との関係—. 廣津信義. 日本体育学会第63回大会 (平塚). 平成24年8月22日. 予稿集, 232 (2012).

5. WBC (ワールド・ベースボール・クラシック) 2013の対戦方式の確率計算による評価. 廣津信義. 日本OR学会常設研究部会「評価のOR」(東京). 平成24年12月8日. 「評価のOR」ホームページ:  
<http://www-sys.ist.osaka-u.ac.jp/hyoka/wikiedit.php>, (2012).

## 柳谷登志雄

## ②

1. Ishii H, Yanagiya T, Naito H, Katamoto S, Maruyama T. Theoretical Study of Factors Affecting Ball Velocity in Instep Soccer Kicking. *J Appl Biomech*. 28(3) 258-270. 2012.
2. Keiji Koyama, Hisashi Naito, Hayao Ozaki, Toshio Yanagiya. Effects of unstable shoes on energy cost during treadmill walking at various speeds. *J Sports Science & Medicine. Journal of Sports Science and Medicine* (2012) 11, 632-637.

## ③

1. 山本真帆, 松尾彰文, 松林武生, 貴嶋孝太, 広川龍太郎, 柳谷登志雄, 渡辺圭佑, 綿谷貴志, 麻場一徳. 2011年度女子100mレースにおける疾走スピード, ピッチおよびストライドの変化. 陸上競技研究紀要 日本陸連科学委員会研究報告 (2012) 陸上競技の医科学サポート研究 REPORT2011 第8巻 pp20-24, 2012.
2. 高橋恭平, 松尾彰文, 広川龍太郎, 柳谷登志雄, 貴嶋孝太, 松林武生, 山本真帆, 綿谷貴志, 渡辺圭佑. 2011年度世界および日本トップスプリンターの200mにおける走パフォーマンス分析. 陸上競技研究紀要 日本陸連科学委員会研究報告 (2012) 陸上競技の医科学サポート研究 REPORT2011, 第8巻, pp25-34, 2012.
3. 広川龍太郎, 松尾彰文, 柳谷登志雄, 持田 尚, 森丘保典, 松林武生, 貴嶋孝太, 山本真帆, 高橋恭平, 渡辺圭佑, 綿谷貴志, 杉田正明, 菊部俊二, 土江寛裕, 高野進. 男子ナショナルチーム・4×100mリレーのバイオメカニクスサポート研究報告 (第2報). 陸上競技研究紀要 日本陸連科学委員会研究報告 (2012) 陸上競技の医科学サポート研究 REPORT2011, 第8巻, pp35-38, 2012.

## ④

1. 柳谷登志雄, 上田勝也, 渡辺圭佑, 小山桂史. シューズの相違が競歩のキネマティクスに及ぼす影響. 日本体育学会第63回大会予稿集, p. 165, 2012
2. 渡辺圭佑, 船橋祐美子, 柳谷登志雄. 靴の硬度が跳躍運動におけるスティフネスに及ぼす影響. 日本体育学会第63回大会予稿集, P162, 2012
3. 柳谷登志雄, 渡辺圭佑, 綿谷貴志, 山本真帆, 木嶋孝太, 松林武生, 広川龍太郎, 土江寛裕, 荻部俊二, 松尾彰文. 陸上競技男子 100 m 走における国内トップアスリートのスピード・ピッチ・ストライド長の変化. 第22回日本バイオメカニクス学会プログラム, P115, 2012
4. 山本真帆, 松尾彰文, 松林武生, 貴嶋孝太, 広川龍太郎, 柳谷登志雄, 渡辺圭佑, 綿谷貴志, 麻場一徳. 女子 100 m レースにおけるスピードとピッチおよびストライドの関係. 第22回日本バイオメカニクス学会プログラム, P116, 2012.
5. 渡辺圭佑, 今関雄太, 柳谷登志雄. 400 m ハードル走における下肢スティフネスの変化. 第22回日本バイオメカニクス学会プログラム, P116, 2012.
6. 柳谷登志雄, 渡辺圭佑, 青木和浩. 片足義足ロングジャンパーのホッピングにおける左右差の比較. 第25会日本トレーニング科学会プログラム・抄録集. P93, 2012.

## ⑤

1. 柳谷登志雄. 『運動することを楽しもう』保健ニュース. 第72号. P14, 2012.
2. 柳谷登志雄. 「現場に生かせる 選手・コーチに役立つ スポーツ医科学講座 第1回 身体の動きを姿勢・重心・筋活動から考える」コーチング・クリニック, 2012年8月. pp63-65, 2012.
3. 柳谷登志雄. 「現場に生かせる 選手・コーチに役立つ スポーツ医科学講座 第2回 走力と競技力を考える」コーチング・クリニック, 2012年9月. pp63-67, 2012.
4. 柳谷登志雄. 「現場に生かせる 選手・コーチに役立つ

- つ スポーツ医科学講座 第3回 筋腱複合体からトレーニングの目的を捉える」コーチング・クリニック, 2012年10月. pp63-80, 2012.
5. 柳谷登志雄. 「現場に生かせる 選手・コーチに役立つ スポーツ医科学講座 第4回 「力・速度・パワー・持続時間から身体運動を考える」コーチング・クリニック, 2012年11月. pp63-67, 2012.
6. 柳谷登志雄. 「現場に生かせる 選手・コーチに役立つ スポーツ医科学講座 第5回 「トレーニングの種類と筋や関節への作用を知る」コーチング・クリニック, 2012年12月. pp63-67, 2012.
7. 柳谷登志雄. 「現場に生かせる 選手・コーチに役立つ スポーツ医科学講座 第6回 「心拍数を測定してトレーニングの効果を上げよう」コーチング・クリニック, 2013年1月. pp67-71, 2012.
8. 柳谷登志雄. 「現場に生かせる 選手・コーチに役立つ スポーツ医科学講座 第7回 「乳酸」を知って競技力向上を図ろう」コーチング・クリニック, 2013年2月. pp67-71, 2012.
9. 柳谷登志雄. 「現場に生かせる 選手・コーチに役立つ スポーツ医科学講座 第8回 「地面反力がわかる」とスポーツ動作の視点が変わる」コーチング・クリニック, 2013年3月. pp67-71, 2012.
10. 柳谷登志雄. 体幹トレーニングで強くなる. 中学部活応援マガジン 熱中陸上部, Vol15, pp14-25, 2013.
11. 「男子 4×100 mR 走力をカバーできるバトンタイムの短縮. 2012新潟インターハイベストパフォーマンス分析前編」陸上競技マガジン2012年11月号. pp152-153, 2012.
12. 柳谷登志雄, 小林 海, 渡辺圭佑, 木村友哉. 「男子 4×100 mR 走力をカバーできるバトンタイムの短縮. 2012新潟インターハイベストパフォーマンス分析前編」陸上競技マガジン2012年11月号. pp152-153, 2012.
13. 柳谷登志雄, 小林 海, 渡辺圭佑, 木村友哉. 「男子 100 m・200 m 先行型の大瀬戸・後半型の橋元. 2012新

潟インターハイベストパフォーマンス分析前編」陸上競技マガジン2012年11月号. pp148-149, 2012.

14. 小林 海, 渡辺圭佑, 木村友哉, 柳谷登志雄. 「女子400 m スピードを生かしたレース転回で勝機. 2012新潟インターハイベストパフォーマンス分析前編」陸上競技マガジン2012年12月号. pp154, 2012.

15. 小林 海, 渡辺圭佑, 木村友哉, 柳谷登志雄. 「女子100 m・200 m 後半のスピード低下を抑えて2冠. 2012新潟インターハイベストパフォーマンス分析後編」陸上競技マガジン 2012年12月号. pp152, 2012.

16. 「楽しく走る, 早く走る, かけっこはスタートが大切」産経子どもニュース 第1647号 (12月13日発行).

#### ⑥

1. 住吉災害防止協会 (山口県下関市) 第39回災害防止大会 安全講話講師. 2012年7月.

2. 印旛郡市スポーツ推進委員連絡協議会全体研修会 講師. 2012年7月.

3. 千葉県体育協会 社会体育公認指導員等養成講習会 講師 2012年8月

4. 千葉県体育協会 上級指導員 共通科目Ⅱ講習会講師 2012年9月

5. 佐倉市民カレッジ 健康づくりコース 講師 2012年9月

6. 平成24年度順天堂大学生涯学習公開講座 (第2回 陸上教室) 講師 2012年10月

7. 江東区スポーツフェスティバル (かけっこ) 講師 2012年10月

8. 瞬足陸上教室 (新宿区とアキレス社共催) 講師 2012年11月

9. 佐倉市民カレッジ 健康づくりコース 講師 2012年12月

10. 四街道市スポーツ推進委員研修会 講師 2013年1月

11. 千葉県スポーツ推進委員連合会拡大女性部交流会講師 2012年1月

12. テレビ出演 「古田敦也のスポーツライアングル『パラリンピック 走り幅跳び佐藤真海』(NHK-BS 2012年8月19日放送) 解説.

#### 助教

木藤 友規

#### ③

1. 平成23年度競技者・指導者等のスポーツキャリア形成支援事業における「スポーツキャリア大学院プログラム」事業完了報告書 (文部科学省委託事業)

2. 平成23年度「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム報告書 (文部科学省委託事業)

3. 平成23年度チーム「ニッポン」マルチサポート事業研究成果報告書

#### ④

バスケットボール選手における他者の視線方向への注意シフトの特性, 第39回日本スポーツ心理学会

#### 窪田 敦之

#### ②

1. 戸塚涼子, 桜庭景植, 窪田敦之. 間欠的加圧による血流制限が廃用性筋萎縮および筋力低下に及ぼす影響. 日本臨床スポーツ医学会誌. 20(1): 130-137, 2012

2. 窪田敦之, 桜庭景植, 小倉裕司, 藤田真平, 鈴木大地, 鈴木良雄, 洪 定男, 鹿倉二郎. 血流制限下で行う他動的運動が筋力および筋横断面積に及ぼす影響 大学男子水泳競技者の下肢筋力を中心に. 日本臨床スポーツ医学会誌. 20(3): 563-569, 2012

3. 桜庭景植, 長沼裕太, 窪田敦之, 中嶽 誠, 鹿倉二郎, 倉石 平. 種目・疾患別の診療の実際 整形外科編 バスケットボールにおける足関節捻挫. 臨床スポーツ医学. 29: 66-74, 2012



③

窪田敦之. 局所の血流制限による筋力低下抑制 最近の知見を含めて. 順天堂スポーツ健康科学研究. 3 Suppl.: 80, 2012

④

1. Kubota A, Sakuraba K, Fujimine S, Fujita S, Ogura Y, Koh S, Nakadake M, Shikakura J. Low Intensity Eccentric Exercise with Blood Flow Restriction Improves Eccentric Strength without Muscle Soreness. The 17th Annual Congress of European College of Sport Science. 2011. 7
2. 長沼裕太, 桜庭景植, 窪田敦之, 中嶽 誠, 中新井田敦子, 門屋悠香, 倉石 平. 大学男子バスケットボール競技者における第五中足骨疲労骨折の実態調査. 第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2012. 11
3. 洪 定男, 桜庭景植, 窪田敦之, 大岐亮平, 佐久間和彦, 鹿倉二郎, 鈴木良雄. 陸上短距離選手の腰痛に関する検討 体幹部筋横断面積と下肢筋力の非対称性について. 第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2012. 11

## 河村 剛光

②

1. Aoki K, Kohmura Y, Suzuki Y, Koikawa N, Yoshimura M, Aoba Y, Fukushi N, Sakuraba K, Nagaoka I, Sawaki K. Post-training consumption of wheat gluten hydrolysate suppresses the delayed onset of muscle injury in soccer players. *Exp Ther Med*, 3(6), 969–972 (2012)

③

1. 体格体力累加測定委員会. 2011年度順天堂大学体格体力累加測定. 順天堂スポーツ健康科学研究. 第3巻 Supplement, 21–31 (2012)

④

1. 河村剛光, 村上茂樹, 青木和浩, 秋元延大, 青木邦成, 猪又菜都子. 加齢による視機能の変化 ~機能カラーレンズ使用時のデータを含めて~. 第19回スポーツビジョン研究集会, 2012
2. 河村剛光, 窪田敦之, 青葉幸洋, 佐賀典生, 青木和浩. ボールを見るトレーニングが打撃能力に及ぼす影響

—通常の打撃練習と比較して—, 第67回日本体力医学会, 2012

3. Y. Someya, S. Kawai, N. Saga, Y. Kohmura, K. Aoki, E. Marui, H. Daida. A low level of cardiorespiratory fitness during college-age is a precursor of adult-onset diabetes mellitus. 48th European Association for the Study of Diabetes Annual Meeting, 2012
4. 青木邦成, 佐久間和彦, 河村剛光, 青木和浩, 丸山祐貴, 森政郎. 形状が異なるミニハードル走と疾走における動作の差異について. 日本陸上競技学会第11回大会, p13, 2012
5. 丸山祐貴, 河村剛光, 高梨雄太, 佐久間和彦, 青木和浩. 110 m ハードルのハードリングにおける異なるリードアーム動作とディップ動作との関係. 日本陸上競技学会第11回大会, p18, 2012
6. 木村友哉, 中丸信吾, 河村剛光, 青野武志, 青木和浩. 水平跳躍種目における踏切位置と踏切4歩前に対する主観誤差の関係. 日本陸上競技学会第11回大会, p17, 2012

## 関根 紀子

②

1. Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Ogura Y, Sugiura T, Katamoto S. Heat stress activates the Akt/mTOR signaling pathway in rat skeletal muscle. *Acta Physiol (Oxf)*. 207(2): 416–26, 2013.

2. Naito H, Yoshihara T, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Tsuzuki T. Heat stress-induced changes in skeletal muscle: heat shock proteins and cellular signaling transduction. *J Phys Fitness Sports Med*. 1(1): 125–31, 2012.

3. Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Kakigi R, Ogura Y, Sugiura T, Naito H. Fiber-type specific expression of  $\alpha$ -actinin isoforms in rat skeletal muscle. *Biochem Biophys Res Commun*. 419(2): 401–4, 2012.

③

1. 内藤久土, 広津信義, 関根紀子, 他体育局担当官 3

名, 平成23年度 体力・運動能力調査報告書, 文部科学省, 平成24年10月

④

〔国外学会発表〕

1. **Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Kakigi R, Sugiura T, Powers SK, Kawai S, Naito H.** Effects of heat stress on diaphragmatic atrophy induced by 12 h mechanical ventilation in rat. 2012 APS Intersociety Meeting: The Integrative Biology of Exercise-VI, Westminster, Colorado, USA, 平成24年10月
2. **Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Kakigi R, Ogura Y, Sugiura T, Naito H.** Expression of  $\alpha$ -actinin-3 protein of hybrid I/IIa fibers in rat skeletal muscle. 15th International Biochemistry of Exercise Conference, Stockholm, Sweden, 平成24年6月
3. **Kakigi R, Ozaki H, Miura S, Kobayashi H, Yoshihara T, Ichinoseki-Sekine N, Tsuzuki T, Naito H.** Whey protein ingestion after exercise decreases LC3-II expression in human muscle. 15th International Biochemistry of Exercise Conference, Stockholm, Sweden, 平成24年6月
4. **Tsuzuki T, Kobayashi H, Yoshihara T, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Naito H, Katamoto S.** Effects of training without elevation of body temperature on lipid profiles in OLETF rat. 15th International Biochemistry of Exercise, Stockholm, Sweden, 平成24年6月
5. **Kakigi R, Ozaki H, Miura S, Kobayashi H, Yoshihara T, Ichinoseki-Sekine N, Tsuzuki T, Naito H.** Effects of Whey Peptide Ingestion after Resistance Exercise on mTOR Signaling in Human Skeletal Muscle. The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, San Francisco, USA, 平成24年6月
6. **Ozaki H, Naito H, Kobayashi H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Kitada T, Nakajima T, Abe T, Katamoto S.** The effects of walking and blood flow restriction on mTOR signaling in young men. The American College of Sports Medicine 59th Annual Meeting, San Francisco, USA, 平成24年6月

7. **Tsuzuki T, Kobayashi H, Yoshihara T, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Naito H, Katamoto S.** Exercise training improves glucose tolerance in type 2 diabetic rats regardless elevation of body temperature. American College of Sports Medicine, San Francisco, USA, 平成24年6月
8. **Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Sugiura T, Katamoto S.** Effects of Combination of Heat Stress and Intermittent Weight-bearing on Disuse Muscle Atrophy and Intracellular Signal in Unloaded Rat Soleus Muscle. The 20th International Congress on Sports Sciences for Students, Budapest, Hungary, 平成24年4月

〔国内学会発表〕

1. **関根紀子, 吉原利典, 柿木 亮, 杉浦崇夫, Powers SK, 河合祥雄, 内藤久土,** 一過性の熱ストレス負荷がラット横隔膜萎縮筋へ及ぼす形態的・機能的影響, 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 平成24年9月
2. **尾崎隼朗, 内藤久土, 小林裕幸, 柿木 亮, 関根紀子, 吉原利典, 形本静夫,** 歩行運動中の血流制限がmTOR 及び MAPK シグナル伝達経路に及ぼす影響, 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 平成24年9月
3. **吉原利典, 関根紀子, 内藤久土, 柿木 亮, Powers SK, 杉浦崇夫, 形本静夫,** 熱ストレス負荷が機械的人工換気に誘発される横隔膜の萎縮に及ぼす影響, 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 平成24年9月
4. **柿木 亮, 関根紀子, 吉原利典, 都築孝允, 内藤久土,** 温熱負荷がラット骨格筋の張力発揮に及ぼす影響, 第154回日本体力医学会関東地方会, 平塚, 平成24年3月
5. **吉原利典, 内藤久土, 柿木 亮, 関根紀子, 都築孝允, 杉浦崇夫, 形本静夫,** 温熱負荷がラット骨格筋の細胞内シグナル伝達に及ぼす影響, 第154回日本体力医学会関東地方会, 平塚, 平成24年3月

—コーチング科学コース—

教授

加納 實

③

1. 施設設備の設置に関する基本調査プロジェクト～廃校を利用した「体操競技場」の事例調査～  
竹田幸夫・加納 實  
体操競技・器械運動研究20号：37-40 (2012. 3)
2. 平均台における「前方宙返り」の技術に関する研究  
鷹野 都・加納 實  
順天堂スポーツ健康科学研究第3巻第4号：219-223 (2012. 9)
3. 鉄棒における「閉脚マルケロフ（ヤマワキ）」の技術に関する研究  
田頭 剛・加納 實  
順天堂スポーツ健康科学研究第3巻第4号：245-250 (2012. 9)

⑤

- 子供の科学第75巻7号 (2012. 6) 体操ニッポンの強さの秘密, (株)誠文堂新光社, 20-21
- スポーツニッポン (2012. 8) : スポニチアーカイブス, 体操ニッポン復活28年ぶり金
- 7/30 読売新聞：コラム
- 8/1 新聞・赤旗：加納 実の視点, チームのまとめり課題
- 8/3 新聞・赤旗：加納 実の視点, あん馬が分かれ目
- 8/7 新聞・赤旗：加納 実の視点, 美しさも技及ばず

⑥

[講師等]

千葉県市川市立福栄小学校ヘルシースクール研修会, 器械運動の実技指導及び講演会「夢に向かって」(2012. 10)

佐久間和彦

④

- [日本陸上競技学会第11回大会 (於：国際武道大学 2012年12月15・16日)]
1. 形状が異なるミニハードル走と疾走における動作の差

異について

- 共同研究 ○青木邦成(順天堂大学大学院), 佐久間和彦, 他
2. 陸上競技走高跳競技者における指導者からの言葉がけを受けた際の脳活動について  
共同研究 ○青野武志 (順天堂大学), 佐久間和彦, 他
  3. 遊びプログラムを取り入れたスポーツ教室の特色に関する研究  
共同研究 ○荒井アジア (順天堂大学大学院), 佐久間和彦, 他
  4. 110 m ハードルのハードリングにおける異なるリードアーム動作とディップ動作との関連  
共同研究 ○丸山祐貴 (順天堂大学大学院), 佐久間和彦, 他
  5. MART を用いた 300 m 走での血中乳酸濃度の評価  
共同研究 ○森 政朗 (順天堂大学大学院), 佐久間和彦, 他
  6. 陸上競技 400 m・400 m ハードル選手における常圧低酸素環境下での超最大ペダリング運動が無酸素エネルギー供給に及ぼす影響  
共同研究 ○鈴木大地 (順天堂大学大学院), 佐久間和彦, 他
- ⑥  
平成24年度千葉県スポーツ指導者研修会 講師 『トップアスリートの育成と指導について』  
(於：成田市中台運動公園体育館)

菅波 盛雄

①

1. 講道館百三十年沿革史  
各論 II 組織 3. 講道館分場 100-107 講道館 2012

②

1. 柔道競技技術内容が国際柔道連盟試合審判規定に与える影響について

## ～審判規定改正に対する一考察～

田村昌大, 廣瀬伸良, 樽本修和, 原口力也, 菅波盛雄  
日本柔道整復整骨医学会誌第20巻3号117-125, 2012

2. **The results of screening examination and management against *Trichophyton tonsurans* infection in judo athletes affiliated with the University Judo Federation of Tokyo for the last 4 years**

Nobuyoshi Hirose, Masahiro Tamura, Morio Suganami, Yumi Shiraki Ogawa, Masataro Hiruma, Medical Mycology Journal 53(4), 267-271, 2012

## 3. 高校硬式野球部員の心理的適性について

前川直也, 廣瀬伸良, 中村 充, 菅波盛雄  
徳山工業専門学校研究紀要第35号49-58, 2012

## ③

1. **Changes in judo “Kumite” tactics according to revisions of the IJF competition rules**

Masahiro Tamura, Nobuyoshi Hirose, Mitsuru Nakamura, Hitoshi Saitoh, Naoto Yamauchi, Chikara Tanaka, Keiji Suzuki, Morio Suganami  
武道学研究 45-(2): 143-149, 2012 (資料論文)

2. 学生柔道指導における積極的な練習環境変化の効果を探る

順天堂スポーツ健康科学研究 第3巻 Supplement 11, 2012  
菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充

3. 順序尺度からみた世界柔道形選手権大会における評価システムの妥当性

順天堂スポーツ健康科学研究 第3巻 Supplement 73, 2012  
菅波盛雄,

## ④

1. 世界柔道形選手権大会の順位決定方式に関する一考察  
菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充, 田村昌大, 前川直也  
武道学研究 第45巻 別冊 86, 2012

## ⑤全日本柔道形競技大会

菅波盛雄  
柔道 第83巻 1号 85-92 2012

## 中島 宣行

## ④

1. 中澤朋美, 中島宣行, 木藤友規: バスケットボール選手における他者の視線方向への注意シフトの特性, 日本スポーツ心理学会第39回大会, 2012年11月, 金沢

2. 川村佑貴, 川田裕次郎, 中島宣行, 広沢正孝: 保育者の言葉かけが幼児の運動に対するモチベーションに及ぼす影響, 日本スポーツ心理学会第39回大会, 2012年11月, 金沢

## ⑥

[講演・講習会等]

1. 中島宣行: スポーツ相談の実際, 平成23年度公認スポーツプログラマー養成講習会, 日本体育施設協会, 2012年1月16日, 東京

2. 中島宣行: ゴルフ学習論, ティーチングプロB級講習会—ゴルフ学習論—, 日本プロゴルフ協会, 2012年1月27日

3. 中島宣行: スポーツの心理 I, 平成24年度千葉県社会体育公認指導員養成講習会, 千葉県体育協会, 2012年7月1日, 千葉

4. 中島宣行: ゴルフ学習論, ティーチングプロB級移行講習会, 日本プロゴルフ協会, 2012年7月24日, 東京

5. 中島宣行: 受験期を乗り越えるための「メンタルヘルス講座」, 佐倉高等学校, 2012年11月15日, 佐倉

6. 中島宣行: スポーツは我々に何をもたらすか?—心理学的観点から—, 平成24年度諏訪スポーツ医会研修会, 諏訪スポーツ医会, 2012年11月17日, 諏訪

7. 中島宣行: スポーツの心理 II 公認スポーツ指導者養成講習会 共通科目 II・III集合講習会, 日本体育協会, 2012年11月21日, 名古屋

## 濱野 光之

③バレーボール部における創意工夫練習・独自の評価票を用いた選手選抜法と統計学的解析

順天堂大学スポーツ健康科学研究 投稿中

## 先任准教授 青木 和浩

## ②

1. Aoki K, Kohmura Y, Suzuki Y, Koikawa N, Yoshimura M, Aoba Y, Fukushi N, Sakuraba K, Nagaoka I, Sawaki K. **Post-training consumption of wheat gluten hydrolysates suppresses the delayed onset of muscle injury in soccer players.** *Exp Ther Med*, 3(6), 969–972, 2012. 4
2. 熊谷直樹, 高梨雄太, 野口安忠, 青木和浩, 金子今朝秋. やり投げ競技者におけるドロップジャンプ遂行能力に関する研究. *陸上競技研究* 91, 23–32, 2012. 12

- ③青木和浩, 廣瀬伸良, 他6名. 2011年度順天堂大学体格体力累加測定. *順天堂大学スポーツ健康科学研究* 3, supplement, 21–31, 2012. 3

## ④

1. 河村剛光, 村上茂樹, 青木和浩, 秋元延大, 青木邦成, 猪又菜都子. 加齢による視機能の変化 ～機能カラーレンズ使用時のデータを含めて～. 第19回スポーツビジョン研究集会, 2012. 8
2. 河村剛光, 窪田敦之, 青葉幸洋, 佐賀典生, 青木和浩. ボールを見るトレーニングが打撃能力に及ぼす影響—通常の打撃練習と比較して—. 第67回日本体力医学会, 2012. 9
3. Y. Someya, S. Kawai, N. Saga, Y. Kohmura, K. Aoki, E. Marui, H. Daida. **A low level of cardiorespiratory fitness during college-age is a precursor of adult-onset diabetes mellitus.** 48th European Association for the Study of Diabetes Annual Meeting. 2012. 10
4. 青木邦成, 佐久間和彦, 河村剛光, 青木和浩. 形状が異なるミニハードル走と疾走における動作の差異について. *日本陸上競技学会第11回大会*, 2012. 12
5. 青野武志, 柳原 大, 持永 新, 越川一紀, 青木和浩, 花川 隆, 佐久間和彦. 陸上競技走高跳競技者における指導者からの言葉がけを受けた際の脳活動について. *日本陸上競技学会第11回大会*, 2012.12

6. 廣瀬健一, 高梨雄太, 金子今朝秋, 青木和浩. ハンマー投競技者のパフォーマンスとコントロールテストの関連性について. *日本陸上競技学会第11回大会*, 2012. 12
7. 木村友哉, 中丸信吾, 河村剛光, 青野武志, 青木和浩. 水平跳躍種目における踏切位置と踏切4歩前に対する主観誤差の関係. *日本陸上競技学会第11回大会*, 2012. 12
8. 丸山祐貴, 河村剛光, 高梨雄太, 佐久間和彦, 青木和浩. 110 m ハードルのハードリングにおける異なるリードアーム動作とディップ動作の関係. *日本陸上競技学会第11回大会*, 2012. 12
9. 森 正郎, 佐久間和彦, 青木和浩, 青木邦成, 新井アジア, 鈴木大地. MART を用いた 300 m 走での血中乳酸濃度の評価～主観的努力度合いと客観的出力の違いについて～. *日本陸上競技学会第11回大会*, 2012. 12

## 今関 豊一

- ④小学校体育授業バスケットボールにおけるボールからはなれる動きの学習に関する検討, *スポーツ教育学研究* 第32回大会号, p38, 2012. 11. 10, 日本スポーツ教育学会, 中京大学
- ⑤体育科・保健体育科授業づくりへの取り組みを, *体育科教育* Vol. 60. 11, pp42–43, 2012, 大修館書店

## 鯉川なつえ

- ①機能性スポーツフードの開発 —Development of Functional Sports Food— 第13章競技能力向上における EPA・DHA 摂取: 鯉川なつえ, 澤木啓祐, エムシー出版, 120–126, 2012
- ②
1. Female distance runners show a different response to post-workout consumption of wheat gluten hydrolysate compared to their male counterparts: Tomomi Hirao, Natsue Koikawa, Kazuhiro Aoki, Keishoku Sakuraba, Yuki Shimamura, Yoshio Suzuki, Keisuke Sawaki, *Experimental and Therapeutic Medicine*, 3 (4), 641–644, January 9, 2012

2. Post-training consumption of wheat gluten hydrolysate suppresses the delayed onset of muscle injury in soccer players: Aoki K, Kohmura Y, Suzuki Y, Koikawa N, Yoshimura M, Aoba Y, Fukushi N, Sakuraba K, Nagaoka I, Sawaki K., *Exp Ther Med*, 3(6): 969-972, 2012

4. 女子実業団ランナーと女子長距離ランナーの栄養摂取に関する研究：船富智恵，鯉川なつえ，長谷川智美，陸上競技研究 88(1), 36-42, 2012

④陸上競技者における乳酸菌 *Lactobacillus delbrueckii ssp. bulgaricus* OLL 1073R-1 の摂取が免疫力に及ぼす影響：沖田磨依，鯉川なつえ，仲村 明，鈴木良雄，桜庭景植，澤木啓祐，日本陸上競技学会第11回大会 p20, 2012

#### 越川 一紀

④青野武志，柳原 大，持永 新，越川一紀，青木和浩，花川 隆，佐久間和彦．陸上競技走高跳競技者における指導者からの言葉がけを受けた際の脳活動について．日本陸上競技学会第11回大会，2012.12

#### 鈴木 大地

②

1. 血流制限下で行う他動的運動が筋力および筋横断面積に及ぼす影響～大学男子水泳競技者の下肢筋力を中心に日本臨床スポーツ医学会誌 pp563-569 vol. 20 No. 3, 窪田敦之，桜庭景植，小倉裕司，藤田真平，鈴木大地，鈴木良雄，洪 定男，鹿倉二郎 20122012年 8月31日

2. BODY TEMPERATURE RESPONSES TO OPEN-WATER SWIMMING Daichi Suzuki, Makoto AYABE, Junichiro AOKI (投稿中)

④3～4年間の運動継続効果一掛川健康調査の追跡結果―第77回日本民族衛生学会総会 2012年11月16-17日(東京)

岩瀬小春，大矢めぐみ，木下慎太郎，嶋 俊郎，永田万純，柳田全孝，和田敦司，黒沢美智子，稲葉 裕，鈴木大地，池田若葉，竹内正次，長阪裕子，金森 悟，島田和典，深尾宏祐，吉原琢磨，大西 朋，鄭 冬梅，横山和仁

⑤

1. 毎日新聞スポーツ面コラム「勝利への執念求めて」2月14日

2. 毎日新聞スポーツ面コラム「まずは水をきれいに」3月17日

3. 毎日新聞スポーツ面コラム「オリンピック選考会」4月10日

4. 毎日新聞スポーツ面コラム「スポーツとお国柄」4月28日

5. 毎日新聞スポーツ面コラム「泳力検定について」6月9日

6. 毎日新聞スポーツ面コラム「教員採用試験のあり方再考」7月14日

7. 毎日新聞スポーツ面コラム「オリンピック水泳競技前半を振り返って」7月31日

8. 毎日新聞スポーツ面コラム「オリンピック水泳競技後半を振り返って」8月4日

9. 毎日新聞スポーツ面コラム「オリンピック全競技を振り返って」9月8日

10. 毎日新聞スポーツ面コラム「日本人の体格について」10月20日

11. 毎日新聞スポーツ面コラム「水泳の通年スポーツ化」11月24日

#### 中村 恭子

③中村恭子：中学校ダンス必修化に関する調査(4)報告書．ダンス授業研究会，2012. 10

④

1. 中村恭子：中学校ダンス必修化に伴うダンス授業実施状況の推移と問題点(3)．日本体育学会第63回大会(神奈川)予稿集，p283, 2012. 8

2. 水谷綾子・石井睦子・堀 弘子・松尾ひとみ・斉藤杏子・安斎恵里・中村恭子・安井正：精神科デイケアにおける運動プログラムのストレス軽減効果に関する研究．第55回日本病院・地域精神医学会総会(名古屋)抄録集，p72, 2012. 10

3. 中村恭子・宮本乙女：課題解決型ダンス学習によるダンスイメージの変容—大学生と中学生の事例比較—．日本教育大学協会全国ホ保健体育・保健研究部門第32回全国創作舞踊研究発表会(群馬)，2012. 12

## ⑤

1. 中村恭子：移行期のアンケート調査から見てきたダンス教育の展望と課題，体育科教育 60(2) pp18-21, 2012
2. 中村恭子：学習を支えるBGM集 創作ダンス(中学・高校)，女子体育 54(8・9) pp 110-111, 2012

## 中村 充

## ②

1. 高校硬式野球部員の心理的適性について  
前川直也，廣瀬伸良，中村 充，菅波盛雄  
徳山工業専門学校研究紀要 第35号，49-58, 2012
2. 習慣的な剣道の実践が聴力に及ぼす影響について  
中村 充，藤本由紀子，伊藤 伸  
順天堂医学 第58巻 6号，pp 512-516, 2012.

## ③

1. Changes in judo “Kumite” tactics according to revisions of the IJF competition rules  
Masahiro Tamura, Nobuyoshi Hirose, Mitsuru Nakamura, Hitoshi Saitoh, Naoto Yamauchi, Chikara Tanaka, Keiji Suzuki, Morio Suganami  
武道学研究 45-(2), pp143-149, 2012.

## ④

1. IJF ルール改正に伴う手や腕で脚を掴む手技の技術・戦術行動の変容  
伊藤 潔，廣瀬伸良，中村 充，前川直也，田村昌大，廣津信義  
武道学研究第45巻 別冊 p38, 2012

2. 柔道選手における競技力の主観的評価尺度の作成  
前川直也，廣瀬伸良，廣津信義，中村 充，石井兼輔，田村昌大  
武道学研究第45巻 別冊 p40, 2012

3. 世界柔道形選手権大会の順位決定方式に関する一考察  
菅波盛雄，廣瀬伸良，中村 充，田村昌大，前川直也  
武道学研究第45巻 別冊 p86, 2012

4. The Transformation of Technical-tactical Maneuvers for Hand Techniques Used in Attacking Below the Belt after the 2010 International Judo Federation Rule Revision  
Kiyoshi Ito, Nobuyoshi Hirose, Mitsuru Nakamura, Naoya Maekawa, Masahiro Tamura, Nobuyoshi Hirotsu, Yasuhiro Sasaki  
International Judo Symposium-Medical and Scientific Aspect, 2012.

## 廣瀬 伸良

## ②

1. 柔道競技技術内容が国際柔道連盟試合審判規定に与える影響について～審判規定改正に対する一考察～  
田村昌大，廣瀬伸良，樽本修和，原口力也，菅波盛雄  
日本柔道整復整骨医学会誌第20巻 3号117-125, 2012

2. The results of screening examination and management against *Trichophyton tonsurans* infection in judo athletes affiliated with the University Judo Federation of Tokyo for the last 4 years  
Nobuyoshi Hirose, Masahiro Tamura, Morio Suganami, Yumi Shiraki Ogawa, Masataro Hiruma,  
Medical Mycology Journal 53(4), 267-271, 2012

3. 高校硬式野球部員の心理的適性について  
前川直也，廣瀬伸良，中村 充，菅波盛雄  
徳山工業専門学校研究紀要第35号49-58, 2012

4. Changes in judo “Kumite” tactics according to revisions of the IJF competition rules  
Masahiro Tamura, Nobuyoshi Hirose, Mitsuru Nakamura, Hitoshi Saitoh, Naoto Yamauchi, Chikara Tanaka, Keiji Suzuki, Morio Suganami  
武道学研究 45-(2): 143-149, 2012 (資料論文)

## ③

1. 日本における *Trichophyton tonsurans* 感染症の疫学とその感染対策に関する研究  
比留間政太郎, 小川祐美, 廣瀬伸良, 野口博光  
厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症研究事業)  
分担研究報告書42-48, 2012.

## ④

1. IJF ルール改正に伴う手や腕で脚を掴む手技の技術・戦術行動の変容  
伊藤 潔, 廣瀬伸良, 中村 充, 前川直也, 田村昌大, 廣津信義  
武道学研究 第45巻 別冊 p38, 2012
2. 柔道選手における競技力の主観的評価尺度の作成  
前川直也, 廣瀬伸良, 廣津信義, 中村 充, 石井兼輔, 田村昌大  
武道学研究 第45巻 別冊 p40, 2012
3. 世界柔道形選手権大会の順位決定方式に関する一考察  
菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充, 田村昌大, 前川直也  
武道学研究 第45巻 別冊 86, 2012
4. The Transformation of Technical-tactical Maneuvers for Hand Techniques Used in Attacking Below the Belt after the 2010 International Judo Federation Rule Revision  
Kiyoshi Ito, Nobuyoshi Hirose, Mitsuru Nakamura, Naoya Maekawa, Masahiro Tamura, Nobuyoshi Hirotsu, Yasuhiro Sasaki  
International Judo Symposium-Medical and Scientific Aspect, 2012.
5. 我が国における *T. tonsurans* 感染症の罹患状況について—大学柔道選手の検査結果を参考にして—  
田村昌大, 廣瀬伸良  
日本柔道整復整骨医学会誌第20巻 5号285, 2012.

## ⑤

1. スポーツ選手(格闘技系)と白癬菌(*Trichophyton tonsurans*)  
廣瀬伸良, 小川祐美, 比留間政太郎  
検査と技術第40巻 8号726-729, 2012 医学書院

## 吉村 雅文

## ②

1. **MASAFUMI YOSHIMURA, YUKIHIRO AOBA, TAIJI WATARI, REI MOMOMURA, KEITA WATANABE, AKIHITO TOMONAGA, MICHITAKA MATSUNAGA, YOSHIMASA SUDA, WOO YOUNG LEE, KATSUHITO ASAI, KAORI YOSHIMURA, TAKESHI NAKAGAWA, TETSURO YAMAMOTO, HIDEYO YAMAGUCHI, ISAO NAGAOK**  
**Evaluation of the effect of a chicken comb extract-containing supplement on cartilage and bone metabolism in athletes**  
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 4, 577-580, 2012
2. KAZUHIRO Aoki, YOSHIMITSU Kohmura, YOSHIO Suzuki, NATSUE Koikawa, **MASAFUMI Yoshimura, YUKIHIRO Aoba, NORIFUMI Fukushi, KEISYOKU Sakuraba, ISAO Nagaoka, KEISUKE Sawaki**  
**Post-training consumption of wheat gluten hydrolysate suppresses the delayed onset of muscle injury in soccer players**  
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 3, 969-972, 2012
3. NOBUYOSHI Hirotsu, Hidekuni Yoshii, Yukihiko Aoba, **Masafumi Yoshimura**  
**An Evaluation of Characteristics of J-League Players Using Data Envelopment Analysis**  
Football Science Vol. 9, 1-13, 2012
4. KAORI Saito, **MASAFUMI Yoshimura, OGIWARA Tomoko**  
**The Influence on Pass Time and passes attempted to qualify to second stage and to win in second stage matches of FIFA World Cup 2010 in South Africa**  
(現在投稿中)
5. 青葉幸洋, 野川春夫, 北村 薫, 吉村雅文, 水野基樹, 上代圭子  
日本プロサッカー選手のセカンドキャリアに関する研究—10 years after—



順天堂スポーツ健康科学研究 第3巻 Supplement, 14, 2012

6. Masashi Nagao, Yoshitomo Saita, So Kameda, Hiroaki Seto, Ryo Sadatsuki, Yuji Takazawa, **Masafumi Yoshimura**, Yukihiro Aoba, Hiroshi Ikeda, Kazuo Kaneko, Masahiro Nozawa, Sung-Gon Kim  
**Headless Compression Screw Fixation of Jones Fractures –An Outcomes Study in Japanese Athletes–**  
 The American Journal of Sports Medicine 2012 40: 2578  
 originally published online September 18, 2012, DOL:10.1177/0363546512459460

④

1. 水野基樹, 芳地泰幸, 吉村雅文. 体育系大学における入学前教育の実施とその効果の検討 第39回日本スポーツ心理学会, 大会研究発表抄録集, 36~37

⑤

1. 2012.4 「巧緻性」を磨こう, (株)カンゼン ジュニアサッカーを応援しよう  
 2. 2012.4 「大学サッカーの存在意義」, 週間サッカーダイジェスト

### 准教授

蔦宗 浩二

- ①「順大バレー・トレーニング」インパルストレーニング, リズム体操等  
 ジャンプ力向上, ケガをしない体作り 蔦宗浩二著 P. 160 2012. 7

③

1. 「3枚ブロックと三角ゾーンの秘密」Coaching Playing Volleyball 78号 2012. 1. 2. P. 8~11  
 2. 「試合に勝つためのベストコンディショニング」白夜書房 2012. 9月号 P. 122~127

⑥

[講演会・講習会]

1. 蔦宗 浩二:「指導者が使うべき言葉」 東京都足立区第十二中学

2. 蔦宗 浩二:「部活指導とトレーニング」船橋市立八木ヶ谷中学校

### 中嶽 誠

- ②桜庭景植, 長沼裕太, 窪田敦之, 中嶽 誠, 鹿倉二郎, 倉石 平. バスケットボールにおける足関節捻挫. 臨床スポーツ医学, 29 (臨時増刊号), 66-74, 2012.

④

1. KUBOTA, A., SAKURABA, K., FUJIMINE, S., FUJITA, S., OGURA, Y., KOH, S., NAKADAKE, M., SHIKAKURA, J. Low Intensity Eccentric Exercise with Blood Flow Restriction Improves Eccentric Strength without Muscle Soreness. The 17th Annual Congress of European College of Sport Science. 2012. 7.

2. 長沼裕太, 桜庭景植, 窪田敦之, 中嶽 誠, 中新井田敦子, 門屋悠香, 倉石平. 大学男子バスケットボール競技者における第五中足骨疲労骨折の実態調査. 第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神奈川, 11月3-4日, 2012. 日本臨床スポーツ医学会誌, 20(4), S204, 2012.

### 仲村 明

- ①仲村 明, 長門俊介: 大学駅伝強豪校の練習法, ベースボール・マガジン社 分担執筆: 順天堂 pp. 72-81 2012.4

- ③島 寿子, 仲村 明, 長門俊介, 鯉川なつえ, 澤木啓祐, 鈴木良雄, 櫻庭景植. 陸上長距離選手のコンディショニング指標の検討 臨床検査 56(4), pp. 446-450 2012.4

### 原田 睦巳

- ②採点規則の改定に伴うあん馬の演技構成に関する一考察  
 原田睦巳・加納 實・小西康仁・冨田洋之  
 日本体操競技・器械運動学会 研究誌 査読中

③

1. 2011年度順天堂大学体格体力累加測定  
 青木和浩・廣瀬伸良・中島宣行・柳谷登志雄・原田睦巳・工藤康宏・涌井佐和子・河村剛光  
 順天堂大学スポーツ科学研究 3, Supplement, 21-31

(2012.3)

## 2. 2011年度クラブ活動指導報告書 ～体操競技部～

加納 實・原田睦巳・富田洋之・小西康仁

順天堂大学スポーツ科学研究3, Supplement, 39-42  
(2012.3)

## 3. 平成23年度大学スポーツ研究活動資源活用事業 活動報告書

順天堂大学スポーツ健康科学部 活動報告書

⑥

〔講師等〕

八千代市立村上東中学校 器械運動実技指導研修会 講師 (2012. 10)

## 助教

青葉 幸洋

②

1. MASAFUMI YOSHIMURA, YOSHIHIRO AOBA, KIYOHITO NAITO, TAIJI WATARI, SAYA MURAKAMI, KAORI YOSHIMURA, TAKESHI NAKAGAWA, TETSURO YAMAMOTO, HIDEYO YAMAGUCHI, ISAO NAKGAOKA

Effect of chicken comb extract-containing supplement on subclinical joint pain in collegiate soccer players

EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE, 3: 457-462 (2012)

2. Aoki K, Kohmura Y, Suzuki Y, Koikawa N, Yoshimura M, Aoba Y, Fukushi N, Sakuraba K, Nagaoka I, Sawaki K.

Post-training consumption of wheat gluten hydrolysate suppresses the delayed onset of muscle injury in soccer players. EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 3: 969-972 (2012)

3. MASAFUMI YOSHIMURA, YUKIHIRO AOBA, TAIJI WATARI, REI MOMOMURA, KEITA WATANABE, AKIHIRO TOMONAGA, MICHITAKA MATSUNAGA, YOSHIMASA SUDA, WOO YOUNG LEE, KATSUHITO ASAI, KAORI YOSHIMURA, TAKASHI NAKAGAWA, TETSURO YAMAMORTO,

HIDEYO YAMASHITA, ISAO NAGAOKA

EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE

4: 577-580 (2012)

4. Masashi Nagao, Yoshitomo Saita, So Kameda, Hiroaki Seto, Ryo Sadatsuki, Yuji Takazawa, Masafumi Yoshimura, Yukihiko Aoba, Hiroshi Ikeda, Kazuo Kaneko, Masahiko Nozawa and Sung-Gon Kim

Headress Compression Screw Fixation of Jones Fractures: Am Outcome Study in Japanese Athletes

The American Journal of Sports Medicine 40(11): 2578-2582 (2012)

- ③青葉幸洋, 野川春夫, 北村 薫, 吉村雅文, 水野基樹, 上代圭子

日本サッカー選手のセカンドキャリアに関する研究—10 years after—

順天堂大学スポーツ健康科学研究 第3巻 Supplement: 14 (2012)

④

1. 長尾雅史, 金 勝乾, 野沢雅彦, 斎田良和, 池田浩, 青葉幸洋, 福土徳文, 吉村雅文

Jones骨折に発症における25ハイドロキシビタミンDの関与について

第4回日本関節鏡・膝・スポーツ整形学会

2. 河村剛光・窪田敦之・青葉幸洋・佐賀典生・青木和浩  
ボールを見るトレーニングが打撃能力に及ぼす影響—通常打撃練習と比較して—

第67回日本体力医学会大会

## 荻原 朋子

- ②小学校教師の体育授業に対するコミットメントを促す要因の質的研究. 四方田健二, 須甲理生, 荻原朋子, 浜上洋平, 宮崎明世, 三木ひろみ, 長谷川悦示, 岡出美則. 2012. 11 受理, 体育学研究.

- ⑥印西市小学校体育科研修会講師「ボール運動ネット型の段階的指導について」(2012. 8), 港区立小学校体育研究部講師 (2012. 10, 11), 白井市体育授業研究会講師 (2012. 12)

## 高梨 雄太

- ②
1. 高梨雄太, 鈴木良雄, 青木和浩, 鯉川なつえ, 新村由記, 桜庭景植, 金子今朝秋, 小麦グルテン加水分解物(WGH)は投擲競技者のウエイトトレーニングにおける筋損傷を軽減するか? 日本臨床スポーツ医学会誌= The journal of Japanese Society of Clinical Sports Medicine 20(1), 66-71, 2012-01-31
  2. 野口安忠, 高梨雄太, 畑山茂雄, バウンディングを用いたW-Upが砲丸投のパフォーマンスに与える影響に関する事例的報告 桜門体育学研究 47(1), 21-28, 2012
  3. 熊谷直樹, 高梨雄太, 野口安忠, 青木和浩, 金子今朝秋, やり投競技者におけるドロップジャンプ遂行能力に関する研究. 陸上競技研究, 第90号 (2012, No. 4), 23-32
- ③野口裕史, 広瀬健一, 高梨雄太, 野口安忠, 金子今朝秋, スイング真横投げ練習がハンマー投のパフォーマンスに及ぼす影響, 陸上競技研究, 第90号 (2012, No. 4), 41-51
- ④
1. 広瀬健一, 高梨雄太, 金子今朝秋, 青木和浩, ハンマー投競技者のパフォーマンスとコントロールテストの関連性について—ケトルベル投に着目して—, 日本陸上競技学会第11回大会予稿集, p.15
  2. 丸山祐貴, 河村剛光, 高梨雄太, 佐久間和彦, 青木和浩, 110mハードルのハードリングにおける異なるリードアーム動作とディップ動作との関係, 日本陸上競技学会第11回大会予稿集, p. 18
- ⑤
1. 「連続写真で見る陸上競技の技術」(No. 233, 男子円盤投, Eハダディ, イラン), 月刊陸上競技, 2012. 5月号, pp. 158-159
  2. 「トレーニング講座高校編」円盤投 2, 3月, 月刊陸上競技, 2012. 2月号, pp. 158-159

## 富田 洋之

- ③2011年度クラブ活動指導報告書 体操競技部  
加納 實, 原田陸巳, 富田洋之 [他]  
順天堂スポーツ健康科学研究 3(Suppl.), 39-42, 2012-03
- ⑥講演: フレッシュャーズデイキャンプ  
2012. 2. 17  
東京ディズニールンドホテル

## 助手

### 高橋 祐太

- ⑥2011年クラブ活動指導報告書 —水泳部— 鈴木大地, 高橋祐太. 順天堂スポーツ健康科学研究 3Supplement: 58-59, 2012.3

## 長門 俊介

- ①仲村 明, 長門俊介: 大学駅伝強豪校の練習法, ベースボール・マガジン社 分担執筆: 順天堂 pp. 72-81 2012.4
- ③島 寿子, 仲村 明, 長門俊介, 鯉川なつえ, 澤木啓祐, 鈴木良雄, 桜庭景植. 陸上長距離選手のコンディショニング指標の検討 臨床検査 56(4), pp. 446-450 2012.4

## 〔スポーツマネジメント学科〕

## 教授

### 小笠原悦子

- ①小笠原悦子・内田満 (2012) 生涯スポーツ実践論. 改訂3版. 川西正志・野川春夫編著. p211-216. 市村出版: 東京.
- ④
1. 池畑亜由美・涌井佐和子・関口晃子・野上玲子・小笠原悦子 (2012) 大学生女性アスリートにおけるコンディショニング管理のためのセルフモニタリングの実施状況. 日本体育学会第63回大会予稿集. p. 243.
  2. Ogasawara, E., Yoshida M. & Bravo, G. (2012) Psychological contract fulfillment in youth coaches of the J League.

The 20<sup>th</sup> European Association for Sport Management Conference, Alborg, Denmark, September 21, 2012. Abstract p. 25.

3. 関口晃子・涌井佐和子・池畑亜由美・野上玲子・小笠原悦子 (2012) 大学生女性アスリートのコンディション管理における教育経験の現状. 日本体育学会第63回大会予稿集. p. 244.

## ⑤

1. 小笠原悦子 (2012) 女性アスリートの戦略的サポート事業について. 順天堂だより, 267, p. 16.
2. 小笠原悦子 (2012) 論点: 女性アスリート育成. 読売新聞, 2012年11月7日朝刊 p. 7.

- ⑥ 文部科学省委託事業: 平成24年度マルチサポート事業女性アスリートの戦略的サポート事業統括責任者

## 北村 薫

- ③ 松本眞一, 鈴木知幸, 野川春夫, 北村 薫. 東日本大震災に公共スポーツ施設の管理者はどう対応したか—関東圏を中心とした現況把握—. スポーツ産業学研究 Vol 22, No1: 197-207, 2012, 3

## ④

[セミナー]

北村 薫. 子どもの運動プログラムの社会的支援: 保護者のニーズは何か~4000人のアンケート調査から~. 日本スポーツ産業学会セミナー, 東京, 2012. 8

[国際学会]

1. Yasuyuki HOCHI, Motoki MIZUNO, Ikuyo KANEKO, Takahiro NAKAYAMA, Kaoru KITAMURA.: Relationship between Collective Efficacy and Contextual Performance among University Athletes in Japan. Program Book 18th World Congress on Ergonomics, P91, Brazil, Recife: Pernambuco State Convention Center, Feb. 2012
2. Yasuyuki HOCHI, Motoki MIZUNO, Takahiro NAKAYAMA, Kaoru KITAMURA.: A Longitudinal Study on the Effects of Team Building for University Base-

ball Team in Japan: From the View Point of Team-Vitalization. Program Book 18th World Congress on Ergonomics, P91, Brazil, Recife: Pernambuco State Convention Center, Feb. 2012

[国内学会]

1. 大沼博靖, 北村 薫. ICTを活用した高齢者向け運動プログラムの実験研究. 日本体育学会第63回大会予稿集: 96, 2012. 8
2. 芳地泰幸, 水野基樹, 山田泰行, 中山貴太, 藤井啓嗣, 北村 薫. 大学生スポーツチームにおけるチームビルディングの導入とその効果の検討II—構造化を目指した定量的調査の視点から—. 日本体育学会第63回大会予稿集: 120, 2012. 8

## 須藤 路子

- ② Sudo, Michiko Mochizuki and Kaneko, Ikuyo (2012). Is there a “Critical Period” in acquisition of English by Japanese learners? Factors affecting TOEIC scores and the production of English rhythmic patterns. *Jacet Journal (The Japan Association of College English Teachers)*, 54, 21-32.

## ④

1. 須藤路子・金子育世・西村英俊 (2012) 日本人学習者による英語母音の compensatory shortening の習得 『日本音響学会講演論文集』 355-356.
2. Sudo, Michiko Mochizuki, Nishimura, Yuhei and Kaneko, Ikuyo (2012) L2 proficiency and environments for vocab ability. *JALT 2012 Conference Handbook*, 76.
3. 伊藤憲治・須藤路子・望月明人・桐野衛二 (2012) 社会性と空間・言語・運動能力との連関解析 『電子情報通信学会基礎・境界講演論文集』 1: 212.
4. 伊藤憲治・須藤路子・望月明人・桐野衛二 (2012) 社会性と運動能力の脳内空間処理に基づく解析 (Analysis of social and exercise competence based on spatial processing within the brain) 『日本生体磁気学会大会論文集』 2-9.

5. 桐野衛二・福田麻由子・稲見理絵・須藤路子・望月明人・伊藤憲治・井上令一・新井平伊 (2012) 心の理論におけるワーキングメモリの役割の functional MRI を用いた検討 (Role of working memory in the Theory of Mind: an fMRI study) 『臨床神経生理学』40 (5).
6. 望月明人・須藤路子・伊藤憲治・桐野衛二 (2012) 身体運動と言語行動の脳内活性への効果—コーディネーション運動の観点から— 『体力科学』61 (6).

## 野川 春夫

### ①

1. 川西正志・野川春夫 編著 「生涯スポーツ実践論—生涯スポーツを学ぶ人たちに—改訂3版」市村出版, 2012年10月.

### ②

1. Keiko Jodai, Haruo Nogawa: “Process of Career Transition among Japanese Ex-Professional Football Players.” *Journal of Asiana Sport for All* 11 (1), pp.65~80, 2012.
2. Yasuhiro Watanabe, Koji Matsumoto and Haruo Nogawa: “Japanese golf gallery’s profiles on the basis of cluster analysis.” *Journal of Asiana Sport for All* 11 (1), pp.81~98, 2012.
3. Yasuhiro Watanabe, Koji Matsumoto and Haruo Nogawa: “Variables influencing spectators’ desire to stay at a professional golf tournament in Japan.” *International Conference on Marketing Studies. The CD Proceedings of ICMS2012.* 総15項.
4. 松本眞一・鈴木知幸・野川春夫・北村 薫: 「震災プロジェクト 東日本大震災に公共スポーツ施設の管理者はどう対応したか: 関東圏を中心とした現況把握」 *スポーツ産業学研究*, 22(1), pp. 197-207, 2012年3月
5. 舟木泰世, 野川春夫: 「地域コミュニティの再生にスポーツが果たす役割—総合型地域スポーツクラブに着目して—」 *文理シナジー*, 16(1), pp. 7-13, 2012年4月
6. Keiko Jodai, Haruo Nogawa: “A Study of Career Transitions on Professional Athletes: A Literature Overview.”

*Football Science*, 9, pp. 50-61, Aug 1, 2012.

### ④

1. 「東アジアにおけるスポーツ振興の一元化推進策に関する国際比較研究—ASEAN 諸国を中心として—」  
発表者: 岡田梓・野川春夫  
アダプテッドスポーツ研究会, 愛知県, 2012年7月22日
2. “Variables influencing spectators’ desire to stay at a professional golf tournament in Japan”  
Yasuhiro Watanabe, Koji Matsumoto and Haruo Nogawa  
The 2012 International Conference on Marketing Studies (ICMS 2012) August 19, 2012, Bangkok, Thailand.
3. 「日本人プロサッカー選手のキャリアプロセスに関する縦断的研究—非自主的な引退に着目して—」発表者: 上代圭子・野川春夫 第63回日本体育学会・体育社会学, 東海大学, 2012年8月22日
4. 「総合型地域スポーツクラブにおけるソーシャルキャピタルの培養—東京都のクラブ創設・育成事業に着目して—」発表者: 舟木泰世・野川春夫 第63回日本体育学会・体育社会学, 東海大学, 2012年8月22日
5. 「スポーツ振興(健常者・障害者)の一元化推進政策への再考」  
発表者: 野川春夫・佐々木朋子・田中暢子・佐藤由夫 第63回日本体育学会・体育社会学, 東海大学, 2012年8月23日
6. 「ノルディックウォーキングイベントの現状と今後」  
発表者: 谷津祥一・野川春夫  
イベントサロン2012第14回学会大会, せんだいメディアテーク, 2012年9月11日
7. 「全国障害者スポーツ大会の式典イベントの変遷」  
発表者: 岡田梓・野川春夫  
イベントサロン2012第14回学会大会, せんだいメディアテーク, 2012年9月12日
8. 「元スポーツ選手における東日本大震災に関するチャリティ活動の現状」  
発表者: 上代圭子・野川春夫

- イベントサロン2012第14回学会大会, せんだいメディアテーク, 2012年9月12日
- 第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月27日
9. 「震災復興におけるダンスイベントの傾向と課題～教育機関に着目して～」  
発表者: 野川春夫・野原正登・舟木泰世・保坂亮太  
イベントサロン2012第14回学会大会, せんだいメディアテーク, 2012年9月12日
16. 「21世紀における国民体育大会「総合開会式」の傾向と課題」  
発表者: 山田亜沙妃・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月28日
10. 「総合型地域スポーツクラブを活性化させるクラブ交流イベント～東京都の地域スポーツクラブ育成支援を事例に～」  
発表者: 舟木泰世・野川春夫・野川暁弘・関尾潤  
イベントサロン2012第14回学会大会, せんだいメディアテーク, 2012年9月12日
17. 「プロバスケットボールチームの地域密着に関する研究～bjリーグ千葉ジェッツに着目して～」  
発表者: 舟木泰世・工藤康宏・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月28日
11. 「震災復興に向けた総合型地域スポーツクラブのイベント～被災4県の活動事例を通じて～」  
発表者: 宮野賢一・野川春夫・舟木泰世  
イベントサロン2012第14回学会大会, せんだいメディアテーク, 2012年9月12日
18. 「東日本大震災によるJクラブのホームスタジアムへの影響～プロチーが使用する公共スポーツ施設に着目して～」  
発表者: 高橋季絵・新藤一晴・渡辺泰弘・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月28日
12. 「国民体育大会における式典イベントの傾向と課題～21世紀の国民体育大会に着目して～」  
発表者: 山田亜沙妃・野川春夫  
イベントサロン2012第14回学会大会, せんだいメディアテーク, 2012年9月12日
19. 「中高年運動実施男性のソーシャルサポートに関する研究～古河市マスターズサッカー大会参加者に着目して～」  
発表者: 殿塚すみれ・宮澤奈都輝・沼澤かすみ・岸純平・川田和寛・岡田梓・舟木泰世・高橋季絵・工藤康宏・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月28日
13. 「東南アジア諸国の障害者スポーツ推進政策における現状と課題～タイ王国に着目して～」  
発表者: 岡田梓・野川春夫・田中暢子・佐々木朋子・工藤康宏  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月27日
20. 「中高年サッカー愛好者による「小学生のスポーツ活動」に対する重要度と現状評価～古河市マスターズサッカー大会参加者に着目して～」  
発表者: 菅本知望・鷺周作・平山なつみ・山田亜沙妃・舟木泰世・高橋季絵・工藤康宏・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月28日
14. 「業間中休みに行う短時間コーディネーションプログラムの影響～低学年児童の敏捷性と保健室利用状況～」  
発表者: 安光達雄・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月27日
21. 「中高年サッカー愛好者のオリンピックに対する関心～古河市マスターズサッカー大会参加者に着目して～」  
発表者: 小澤惇・広津万里菜・松田速人・山田侑美・山田亜沙妃・高橋季絵・工藤康宏・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月27日
15. 「ウォーキングの継続率向上に関する研究～美しい歩き方に着目して～」  
発表者: 谷津祥一・野川春夫・鈴木規美子

月28日

⑤

1. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第18回  
単著 月刊体育施設, 3月号, pp. 38-39. 2012年3月
2. 「スポーツ推進(健常者・障害者)の一元化推進策に関する国際比較研究」  
共著(野川春夫・佐々木朋子・田中暢子・佐藤由夫・李性旼・Paul De Knop) SSF スポーツ政策研究, 第1巻1号, pp. 40-49. 2012年4月
3. 「地域スポーツ政策の将来予測に関する研究～スポーツ行政関係者等へのデルファイ法を用いて～」  
共著(岡安 功・舟木泰世・野川春夫) SSF スポーツ政策研究, 第1巻1号, pp. 25-31. 2012年4月
4. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第19回  
単著 月刊体育施設, 5月号, pp. 38-39. 2012年5月
5. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第20回  
単著 月刊体育施設, 7月号, pp. 38-39. 2012年7月
6. 「防災拠点としての役割を考える」特集  
共著 月刊体育施設, 8月号, pp. 6-16. 2012年8月
7. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第21回  
単著 月刊体育施設, 9月号, pp. 38-39. 2012年9月
8. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第22回  
単著 月刊体育施設, 11月号, pp. 38-39. 2012年11月

⑥

1. シンポジウム「スポーツ基本法の改正と我が国スポーツ施設のあり方」  
第73回全国体育施設研究競技大会, 千葉県, 2012年6月20日

#### 前任准教授

大野 早苗

- ①中川千恵子・作田奈苗・大野早苗(2012.6)『日本語能力試験徹底攻略 N1・N2 聴解』大新書局(台北)

④

1. 大野早苗・作田奈苗(2012.8)「学生の作文に見られる話し言葉について—カラ節を例に—」『日本リメディアル教育学会第8回全国大会発表予稿集』128-129
2. 大野早苗(2012.10)「留学生と日本人学生の作文についての意識調査—文章作成過程に注目して—」『2012年度日本語教育学会秋季大会予稿集』243-244

⑥

1. 朝日カルチャーセンター日本語教師養成講座講師(文法)(2012.4-6)
2. 朝日カルチャーセンター日本語教育能力検定試験対策講座講師(日本語の構造)(2012.9)

#### 金子 育世

- ②An Appraisal analysis of emotional expressions in English letters by first and second language writers  
Ikuyo Kaneko  
*Theory of Information and Culture*, 10, 50-61.

④

1. Relationship between collective efficacy and contextual performance among university athletes in Japan  
Yasuyuki Hoshi, Motoki Mizuno, Takahiro Nakayama, Ikuyo Kaneko & Kaoru Kitamura  
International Ergonomics Association, Program Book 18th World Congress on Ergonomics, p. 91 (CD-R 総4頁), Feb., 2012
2. Construction of the integrated model for practical career support to the professional athletes  
Motoki Mizuno, Yasuyuki Hoshi, Mami Inoue, Ikuyo Kaneko, & Yasuyuki Yamada  
International Ergonomics Association, Program Book 18th World Congress on Ergonomics, p. 91 (CD-R 総4頁), Feb., 2012
3. 日本人学習者による英語母音の compensatory shortening の習得  
須藤路子・金子育世・西村英俊  
日本音響学会2012年秋季研究発表会講演論文集 355-356,

2012年9月

4. L2 proficiency and environments for vocab ability  
Michiko M. Sudo, Yuhei Nishimura & Ikuyo Kaneko  
JALT 2012 Conference Handbook, 76, Oct., 2012

### 神原 直幸

- ②中司千尋, 神原直幸 野球を題材とした漫画における女性の表象, 順天堂スポーツ健康科学研究 (原著) (印刷中)

### 工藤 康宏

①

1. 川西正志・野川春夫 編著 「生涯スポーツ実践論—生涯スポーツを学ぶ人たちに—改訂3版」 第6章「地域社会と生涯スポーツイベント」[1]生涯スポーツイベントの動向, [2]地域開発とスポーツイベント, [4]スポーツイベントとツーリズム執筆担当, 2012年10月

④

1. 「体育・スポーツ系学部におけるオープンキャンパスの動向」  
発表者: 伊藤俊貴・大栗 梢・尾名高悠太・渡辺真帆・工藤康宏  
イベント学会第15回研究大会, せんだいメディアテーク, 2012年9月12日
2. 「東南アジア諸国の障害者スポーツ推進政策における現状と課題—タイ王国に着目して—」  
発表者: 岡田 梓・野川春夫・田中暢子・佐々木朋子・工藤康宏  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月27日
3. 「プロバスケットボールチームの地域密着に関する研究—bjリーグ千葉ジェッツに着目して—」  
発表者: 舟木泰世・工藤康宏・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月28日
4. 「中高年運動実施男性のソーシャルサポートに関する研究—古河市マスターズサッカー大会参加者に着目して

—」

発表者: 殿塚すみれ・宮澤奈都輝・沼澤かすみ・岸 純平・川田和寛・岡田 梓・舟木泰世・高橋季絵・工藤康宏・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月28日

5. 「中高年サッカー愛好者による「小学生のスポーツ活動」に対する重要度と現状評価—古河市マスターズサッカー大会参加者に着目して—」  
発表者: 菅本知望・鷲 周作・平山なつみ・山田亜沙妃・舟木泰世・高橋季絵・工藤康宏・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月28日

6. 「中高年サッカー愛好者のオリンピックに対する関心—古河市マスターズサッカー大会参加者に着目して—」  
発表者: 小澤 惇・広津万里菜・松田速人・山田侑美・山田亜沙妃・高橋季絵・工藤康宏・野川春夫  
第14回日本生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012年10月28日

⑥

1. 公益財団法人神奈川県体育協会スポーツ振興課主催, 総合型地域スポーツクラブ創設支援セミナーコーディネーター, 2012年7月24日
2. 日本スポーツツーリズム推進機構人材育成委員会「スポーツ・ツーリズムにおける人材育成について」講師, 2012年8月29日
3. 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団/公益財団法人東京都体育協会主催, 平成24年度スポーツクラブマネージャー養成講習会「クラブの作り方」講師, 2012年11月11日
4. 愛知県教育委員会主催, 平成24年度広域スポーツセンター機能強化事業(文部科学省委託事業)「地域スポーツとトップレベルチームとの好循環」講師, 2012年12月8日

### 西村 英俊

- ④須藤路子, 金子育世, 西村英俊



日本人学習者による英語母音の compensatory shortening の習得

日本音響学会2012年秋季研究発表会 9月19-21, 2012

Authors: Yasuyuki HOCHI, Motoki MIZUNO, Ikuyo KANEKO, Takahiro NAKAYAMA, Kaoru KITAMURA

## 水野 基樹

① 石井源信, 楠本恭平, 阿江美恵子編『現場で生きるスポーツ心理学』, 第8章, 4. 集団スキル教育「1) 集団への不適応」(209-214頁の分担執筆), 杏林書院, 2012年.

② 「Merits and Demerits of Engaging in Athletic, Academic and Part-Time Job Roles among University Student-Athletes in Japan」 Journal of Human Ergology, Vol. 40, No. 1, 2, pp. 141-150

Authors: Yasuyuki YAMADA, Motoki MIZUNO, Takeshi EBARA, Masataka HIROSAWA

③

1. 「若年労働者の労働災害防止のための安全衛生管理手法の開発に関する調査研究報告書」分担執筆, 中央労働災害防止協会, 2012年

2. 「平成24年度 産業イベント調査報告書(八千代どーんと祭り来場者アンケート調査報告書)」2012年

3. 「ラーニングバリュー総合研究所 平成24年度活動報告書」株式会社ラーニングバリュー, 2012年

4. 「スポーツ事故再発防止委員会 調査報告書」分担執筆, 順天堂大学スポーツ健康科学部 2012年

④

1. 「Construction of the Integrated model for Practical Career Support to the Professional Athletes」 International Ergonomics Association 『Program Book 18th World Congress on Ergonomics』 Feb., 2012, p91 (CD-R 総4頁)

Authors: Motoki MIZUNO, Yasuyuki HOCHI, Mami INOUE, Ikuyo KANEKO, Yasuyuki YAMADA

2. 「Relationship between Collective Efficacy and Contextual Performance among University Athletes in Japan」 International Ergonomics Association 『Program Book 18th World Congress on Ergonomics』Feb., 2012, p91 (CD-R 総4頁)

3. 「A Longitudinal Study on the Effects of Team Building for University Baseball Team in Japan: From the View Point of Team-Vitalization」 International Ergonomics Association 『Program Book 18th World Congress on Ergonomics』 Feb., 2012, p91 (CD-R 総4頁)

Authors: Yasuyuki HOCHI, Motoki MIZUNO, Takahiro NAKAYAMA, Kaoru KITAMURA

4. 「A Study on the Relationship between Commitment of Club Activity and Vocational Readiness among University Students」 International Ergonomics Association 『Program Book 18th World Congress on Ergonomics』 Feb., 2012, p91 (CD-R 総4頁)

Authors: Takashi MIZUSAWA, Yasuyuki HOCHI, Motoki MIZUNO

5. 「Consequences of Organizational Commitment in Abolished Company Sports Team -A Case Study in Japan-」 International Ergonomics Association 『Program Book 18th World Congress on Ergonomics』 Feb., 2012, p91 (CD-R 総4頁)

Authors: Yuki HONDA, Yasuyuki HOCHI, Motoki MIZUNO

6. 「Mind reading through the eyes: an fMRI study」 International Ergonomics Association 『Program Book 18th World Congress on Ergonomics』 Feb., 2012, p92 (CD-R 総4頁)

Authors: Yujiro KAWATA, Eiji KIRINO, Motoki MIZUNO, Masataka HIROSAWA

7. 「相対的年齢が幼児の体格, 運動能力, 運動有能感及び保育者からの評価に及ぼす影響」人類動態学会全国大会『人類動態学会会報』, 第96号, 41-42頁, 2012年6月  
研究者: 川田裕次郎, 矢島雪乃, 山田快, 上村 明, 飯嶋正博, 水野基樹, 広沢正孝

8. 「妊娠中の看護師の夜勤免除措置を促進する組織的な環境要因についての研究」人類動態学会全国大会『人類動態学会会報』, 第96号, 45-46頁, 2012年6月  
研究者: 庄司直人, 本田勇輝, 水野基樹

9. 「大学生スポーツチームにおけるチームビルディングの導入とその効果の検討Ⅰ—内省報告を分析対象とした定性的調査の視点から—」日本体育学会『日本体育学会第36回大会予稿集』113頁, 2012年8月  
研究者: 水野基樹, 芳地泰幸, 中山貴太, 藤井啓嗣, 山田泰行
10. 「大学生スポーツチームにおけるチームビルディングの導入とその効果の検討Ⅱ—構造化を目指した定量的調査の視点から—」日本体育学会『日本体育学会第36回大会予稿集』120頁, 2012年8月  
研究者: 芳地泰幸, 水野基樹, 山田泰行, 中山貴太, 藤井啓嗣, 北村 薫
11. 「大学競技者が訴えるバーンアウト症状のリスク推定」日本体育学会『日本体育学会第36回大会予稿集』112頁, 2012年8月  
研究者: 山田泰行, 上村 明, 芳地泰幸, 水野基樹, 広沢正孝
12. 「高校生が感じる家庭内からのソーシャル・サポートと対人ストレスイベントの関連」日本体育学会『日本体育学会第36回大会予稿集』133頁, 2012年8月  
研究者: 藤井啓嗣, 芳地泰幸, 水野基樹
13. 「一般従業員における運動実施状況とレジリエンスの関連」人類働態学会東日本地方会『人類働態学会会報』, 第97号, 6-7頁, 2012年11月  
研究者: 本田勇輝, 芳地泰幸, 水野基樹
14. 「看護師に多重役割マップ(MRM)を用いた介入研究を実施する際の留意点」人類働態学会東日本地方会『人類働態学会会報』, 第97号, 8頁, 2012年11月  
研究者: 山田泰行, 水野基樹, 榎原 毅, 岡田 綾, 上島通浩, 広沢正孝
15. 「体育系大学における入学前教育の実施とその効果の検討」日本スポーツ心理学会『第39回大会研究発表抄録集』36-37頁, 2012年11月  
研究者: 水野基樹, 芳地泰幸, 吉村雅文
16. 「効果的な学生支援プログラム導入に向けた基礎的研究—首都圏の大学2校における取り組み事例から—」日本スポーツ心理学会『第39回大会研究発表抄録集』188-189頁, 2012年11月  
研究者: 芳地泰幸, 水野基樹, 山田泰行
17. 「スポーツ MBA はスポーツをどう支えるか—スポーツ MBA 構想の課題と展望—」日本スポーツ産業学会, 第5回スポーツ産業学セミナー「日本スポーツ産業学会の新しいタイプのセミナー; Road Show at JUNTENDO Univ.」[総合テーマ: スポーツの社会的支援を考える] 2012年8月  
報告者: 水野基樹
- ⑤
1. 「私の人材育成論(第11回)—スポーツから学ぶ部下の育成方法—褒めて伸ばす?叱って伸ばす?—」労政時報 Web 版(総4頁), 2012年2月  
筆者: 水野基樹
- ⑥
1. 辻調理師専門学校グループFD研修「チームビルディング」講師(2012年, 1月7-9日, 大阪府)
2. 東京都スポーツ文化事業団 地域スポーツクラブマネジメントセミナー「企業経営から学ぶ」講師(2012年1月29日, 東京都)
3. 専修大学体育会研修会「スポーツチームにおけるリーダーシップと目標設定」講師(2012年3月6日, 静岡県)
4. 共立女子大学・短大FD研修「チームビルディング研修」講師(2012年3月7日, 東京都)
5. 日本ダイバーショナルセラピー協会 DSW 養成講座「コミュニケーション講座」講師(2012年4月21日, 大阪府)
6. 日本予防医学協会・産業保健人間工学会 作業管理士認定講習会「モラル・モチベーション研修」講師(2012年6月29日, 東京都)
7. 千葉県社会体育協会 公認指導員講習会「スポーツ組織の運営と事業」講師(2012年7月1日, 千葉県)
8. 富山県体育協会 総合型クラブマネージャー スキルアップ研修会「クラブ運営を支える—いきいきとした組織

づくりー」講師 (2012年8月18日, 富山県)

9. 高崎経済大学付属高等学校 進路講演会「子供の豊かなキャリア形成への視点—ほめて伸ばす? 叱って伸ばす?—」講師 (2012年9月8日, 群馬県)

10. 佐倉市民カレッジ「チームワークを考える」講師 (2012年9月11日, 千葉県)

11. 日本マネジメント学会第66回全国研究大会「自由論題報告」司会 (2011年11月2-3日, 北海道, 北海学園大学)

12. 東京都スポーツ文化事業団 スポーツクラブマネジャー養成講座「クラブマネジャーの役割」講師 (2012年11月17日, 東京都)

13. 開発電子技術株式会社 (Jパワー)「管理職コーチング研修」講師 (2012年11月29日, 東京都)

## 山田 満

⑥

〔学内外研究発表・講演会〕

1. 学内学術研究講演会研究報告, 「アスリートの環境意識に関する調査・研究」, 2012年7月19日

2. 日本スポーツクラブ協会, 全国スポーツクラブマネジャー養成講習会向け講演「スポーツクラブのマーケティング・コミュニケーション」, 2012年7月22日

3. 医療看護学部FD推進委員会向け講演「スポーツマネジメント学科における社会人育成のための授業やゼミ指導の工夫」, 2012年8月1日

4. 一般社団法人「環境アスリート協会」の理事会にて「アスリートの環境意識に関する調査」の総合報告会を行った. 2012年8月6日

〔マーケティングコミュニケーション・ビジネス実践研究〕

1. (株)ビーアール・デイリー向け「(株)アンファー就職希望度向上策の提言」, 2012年6月26日

2. (株)クリーク・アンド・リバー社向け「クライアントへのコンサルに当たって」, 2012年11月14日

3. (株)東洋カーマックス向け「新規クルマ関連ビジネスの提言」, 2012年12月19日

## 〔健康学科〕

### 教授

#### 島内 憲夫

① 島内憲夫・鈴木美奈子: ヘルスプロモーション〜WHO: バンコク憲章〜, 垣内出版, 2012.

②

1. Norio Shimanouchi and Minako Suzuki: Why should we understand the lay concept of health? -A health sociological approach-, Health Promotion Research, Vol. 5 No. 1, 2-11, 2012.

2. 鈴木美奈子・島内憲夫・広沢正孝・廣津信義: 主観的健康観が健康行動と健康状態に及ぼす影響, ヘルスプロモーション・リサーチ, Vol. 5 No. 1, 12-23, 2012.

3. 鈴木美奈子・島内憲夫・広沢正孝・廣津信義: 主観的健康観と Health Locus of Control との関連, ヘルスプロモーション・リサーチ, Vol. 5 No. 1, 24-33, 2012.

③

1. 内山孝夫・島内憲夫: ヘルスプロモーションの観点を活かした介護予防事業修了者へのフォローアップ, ヘルスプロモーション・リサーチ, Vol. 5 No. 1, 40-47, 2012.

④

1. 鈴木美奈子・島内憲夫: 主観的健康観と健康行動・健康状態との関連〜特定健康診査受診者を対象として, 第71回日本公衆衛生学会総会 抄録集, 260, 2012

2. 渡辺いよ子・島内憲夫・鈴木美奈子: 地域づくり型ヘルスポランティアの機能に関する研究〜ヘルスプロモーションの視点から〜, 日本ヘルスプロモーション学会第10回学術大会・総会 抄録集, 53, 2012.

3. 本沢晶雄・山本健次・島内憲夫・鈴木美奈子: 健康施

策の歴史と健康意識の移り変わり, 日本ヘルスプロモーション学会第10回学術大会・総会 抄録集, 55, 2012.

4. 鈴木美奈子・島内憲夫・広沢正孝・廣津信義: 大学生の主観的健康観と Health Locus of Control との関連, 日本ヘルスプロモーション学会第10回学術大会・総会 抄録集, 60, 2012.
5. 猪又菜都子・島内憲夫・鈴木美奈子: 体育系大学生における時間的展望と重要な他者に関する研究, 日本ヘルスプロモーション学会第10回学術大会・総会 抄録集, 60, 2012.
6. 安田祐子・島内憲夫・鈴木美奈子: 大学生における主観的幸福観の類型化及び主観的健康観との関わりについての研究, 日本ヘルスプロモーション学会第10回学術大会・総会 抄録集, 65, 2012.
7. 神谷葉南・島内憲夫・鈴木美奈子: 中学生をもつ家族機能と家族満足度に関する研究, 日本ヘルスプロモーション学会第10回学術大会・総会 抄録集, 66, 2012.
8. 平塚健太・島内憲夫・鈴木美奈子: インターネット依存傾向と家族機能との関連, 日本ヘルスプロモーション学会第10回学術大会・総会 抄録集, 67, 2012.

#### ⑥

講演・座長

1. 第10回日本ヘルスプロモーション学会・学術大会(平成24年12月8日: 順天堂大学有山記念館講堂)で学会長講演「ヘルスプロモーション再考—健康社会創造のデザイン構築をめざして—」をする。
2. 第10回第10回日本ヘルスプロモーション学会・学術大会(平成24年12月8日: 順天堂大学有山記念館講堂)での特別講演「ヘルスプロモーション: 21世紀の挑戦」(イローナ・キックブッシュ博士)の座長を務める。
3. 第6回ヘルスプロモーション国際シンポジウム in さくら(平成24年12月9日: 佐倉市ウイシュトンホテル・ユーカリ)での特別講演「都市のヘルスプロモーション」(イローナ・キックブッシュ博士)の座長を務める。
4. 第12回全国健康なまちづくりネットワーク会議 in さ

くら(平成24年12月9日: 佐倉市ウイシュトンホテル・ユーカリ)でのシンポジウム「3 市長サミット〜近未来への健康なまちづくりへの提案〜」の座長を務める。

5. 千葉県習志野市「市民カレッジ」, 佐倉市「市民カレッジ」, 神奈川県「健康文化都市大学」にて講演をする。

#### 下村 義夫

- ①健康と環境, 中学校保健体育の研究・研究編Ⅱ保健, 学研教育みらい, 68-83, 2012

- ④渡邊貴裕 松山 毅 下村義夫 本田由佳: 知的障害者における健康課題—身体組成に着目して, 第71回日本公衆衛生学会総会抄録集 pp. 427, 2012

#### 広沢 正孝

##### ①

1. 広沢正孝: ライフサイクルと精神の健康. 広沢正孝, 藤井達也, 四方田清編, 精神保健の課題と支援, pp27-38, 中央法規, 東京, 2012.
2. 広沢正孝: ストレスと精神の健康. 広沢正孝, 藤井達也, 四方田清編, 精神保健の課題と支援, pp39-43, 中央法規, 東京, 2012.
3. 広沢正孝: 生活習慣と精神の健康. 広沢正孝, 藤井達也, 四方田清編, 精神保健の課題と支援, pp44-48, 中央法規, 東京, 2012.
4. 広沢正孝: 精神の健康, 精神疾患, 身体疾患に由来する障害. 広沢正孝, 藤井達也, 四方田清編, 精神保健の課題と支援, pp49-53, 中央法規, 東京, 2012.
5. 広沢正孝: 精神の健康に関する心的態度. 広沢正孝, 藤井達也, 四方田清編, 精神保健の課題と支援, pp56-61, 中央法規, 東京, 2012.
6. 広沢正孝: 慢性期. 中安信夫監修, 統合失調症とその関連病態—ベッドサイド・プラクティス, pp133-166, 星和書店, 東京, 2012.
7. 広沢正孝: 精神医学. 日本精神保健福祉士養成校協会

編, 精神保健福祉士国家試験模擬問題集2012, 問題編 pp6-9, 解答編 pp1-6, 中央法規, 東京, 2012.

8. 広沢正孝: 精神医学. 日本精神保健福祉士養成校協会編, 精神保健福祉士国家試験対策, 専門科目最終チェック 2013, pp5-14, 東京, 2012.
9. 広沢正孝: 高機能広汎性発達障害 (アスペルガー症候群) と解離. 柴山雅俊編集, 解離の病理—自己・世界・時代, pp49-76, 岩崎学術出版社, 東京, 2012.

## ②

1. Yamada Y, Mizuno M, Ebara T, Hirosawa M.: Merits and demerits of engaging in athletic, academic and part-time job roles among university student-athletes in Japan. *Journal of Human Ergology*, 40; 141-150, 2011. (2012年刊行)
2. 鈴木美奈子, 島内憲夫, 広沢正孝, 廣津信義: 主観的健康観と Health Locus of Control との関係. *ヘルスプロモーション・リサーチ*, (印刷中)
3. 鈴木美奈子, 島内憲夫, 広沢正孝, 廣津信義: 主観的健康観が健康行動と健康状態に及ぼす影響—特定健康診断受診者を対象として—. *ヘルスプロモーション・リサーチ*, (印刷中)

## ③

1. Yamada, K., Kawata, Y., Nakajima, N., Hirosawa, M.: Relationship between state anxiety and success rate in game performance, coach's evaluation among Japanese university volleyball players. *Work*, 41; 5764-5766, 2012.
2. Kawata, Y., Kirino, E., Mizuno, M., Hirosawa, M.: Mind reading through the eyes: an fMRI study. *Work*, 41; 5785-5787, 2012.
3. 広沢正孝: 高機能自閉症 (アスペルガー障害) の見分け方と対応. 順天堂千葉精神医学懇話会記録集, pp2-3, 2012.
4. 広沢正孝: キャンパスで求められる発達障害支援とは—高機能広範性発達障害をめぐって—. *メンタルヘルス研究協議会平成23年度報告書*, pp61-64, 独立行政法人日

本学生支援機構, 東京, 2012.

5. 広沢正孝: 高齢者の生き甲斐と日本人の故郷性 (Considering meaning and purpose of Japanese geriatrics: A sense of coherence and/or a spiritual longing for home.). 第8回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム (報告書). pp30-42, 2012.
6. 広沢正孝: 広汎性発達障害. *精神看護*, 15(2); 20-25, 2012.
7. 川田裕次郎, 広沢正孝, 桐野衛二, 田中純夫, 渋谷智久, 飯嶋正博: 大学生における社会的認知能力と集団適応に関する認知・心理学的研究. *順天堂スポーツ健康科学研究*, 3 (Supple.), 10, 2012.
8. 形本静夫, 手島敏光, 大原寛一, 岸本直樹, 中務博司, 村出真一郎, 河合祥雄, 広沢正孝: 自転車競技部—2011年度の指導概要について. *順天堂スポーツ健康科学研究*, 3 (Supple.), 63-65, 2012.
9. 広沢正孝: 夢幻様体験型 oneiroide Erlebnisform. *精神科治療学*, 27 (4); 554-555, 2012.
10. 広沢正孝: 成人期の広汎性発達障害への精神療法的アプローチ. *臨床精神医学*, 41 (増刊号); 301-306, 2012.

## ④

1. Yamada, K., Kawata, Y., Nakajima, N., Hirosawa, M.: Relationship between state anxiety and success rate in game performance, coach's evaluation among Japanese university volleyball players. *Proceedings of the International Conference on the Ergonomics Association*. 2012, Recife, Brazil, CD-ROM.
2. Kawata, Y., Kirino, E., Mizuno, M., Hirosawa, M.: Mind reading through the eyes: an fMRI study. *Proceedings of the International Conference on the Ergonomics Association*. 2012, Recife, Brazil, CD-ROM.
3. Yamada, Y., Ebara, T., Mizuno, M., Hirosawa, M.: Risk estimation of the depression from affective temperament, melancholic type and stress related factors; Focusing

- on the Japanese female nurses. Proceedings of the 23th Korea·Japan·China Joint Conference on Occupational Health, pp76-77, 2012.
4. 山田泰行, 水野基樹, 広沢正孝, 榎原 毅, 上島通浩: アルバイトに従事する大学生の心的葛藤とは?—ネガティブ・スピルオーバーに着目して—. 第85回日本産業衛生学会, 名古屋, 2012. (5/30-6/2)
  5. 広沢正孝: 成人の高機能広汎性発達障害—そのこころの理解に向けて—. 第29回愛媛県精神神経学会 (特別講演). 愛媛県医師会館, 2012. (6/9)
  6. 山田泰行, 水野基樹, 榎原 毅, 岡田 綾, 上島通浩, 広沢正孝: 看護師に多重役割マップ (MRM) を用いた介入研究を実施する際の留意点. 人類動態学会会報, 第97号, p8, 2012.
  7. 川田裕次郎, 矢島雪乃, 山田 快, 上村 明, 飯嶋正博, 水野基樹, 広沢正孝: 相対的年齢が幼児の体格, 運動能力, 運動有能感及び保育者からの評価に及ぼす影響. 人類動態学会第47回大会抄録集, pp41-42, 2012.
  8. 山田 快, 川田裕次郎, 上村 明, 広沢正孝: 大学生アスリートにおける日常・競技ストレスと睡眠行動との関連. 人類動態学会第47回大会抄録集, pp56-57, 2012
  9. 山田泰行, 上村 明, 芳地泰幸, 水野基樹, 広沢正孝: 大学生競技者が訴えるバーンアウト症状のリスク推定. 日本体育学会63回大会予稿集, p112, 2012.
  10. 川田裕次郎, 山田 快, 上村 明, 那須野歩, 飯嶋正博, 中島宣行, 広沢正孝: 幼児における体格, 運動能力, 保育者からの評価と運動有能感の関連. 日本体育学会63回大会予稿集, p123, 2012
  11. 山田 快, 川田裕次郎, 那須野歩, 上村 明, 広沢正孝: 大学生アスリートにおける抑うつ症状と睡眠行動の関連, 日本体育学会63回大会予稿集, p128, 2012
  12. 上村 明, 川田裕次郎, 山田 快, 広沢正孝: スポーツ系大学学生の強迫性格が日常・競技ストレスとアスリート・バーンアウトの関連に及ぼす影響, 日本体育学会63回大会予稿集, p132, 2012
  13. Kawata, Y., Iijima, M., Izutsu, S., Yamada, K., Kamimura, A., Hirose, M.: The relative age effect on physical fitness, motor ability, physical competence and evaluation from kindergarten teachers among Japanese young children. Proceedings of the 8th Asian Preschool Physical Education Conference and PE Workshop for Kindergarten Teachers, Beijing, China, CD-ROM (5 pages), 2012.
  14. 広沢正孝: 成人の高機能広汎性発達障害と統合失調症との関連. 岐阜精神医会 (教育講演), 岐阜会館, 2012. (9/8)
  15. 川田裕次郎, 飯嶋正博, 井筒紫乃, 上村 明, 山田 快, 広沢正孝: 幼児における運動有能感測定の試み. 日本幼児体育学会第8回大会予稿集, pp88-89, 2012.
  16. 小野 隆, 涌井佐和子, 前上里直, 広沢正孝, 島内憲夫: 地域の介護予防事業における自己効力感の継続的变化—運動習慣保有者と非保有者の比較—. 第14回生涯スポーツ学会, 広島経済大学, 2012. (10/13-14)
  17. 井上幸, 広沢正孝, 川田裕次郎, 水野基樹: 看護師の勤務継続に関する研究—看護師のストレスとレジリエンスの視点から—. 日本看護科学学会第32回学術集会, 東京国際フォーラム, 2012. (11/30-12/1)
  18. 山田 快, 荒井弘和, 中澤 史, 川田裕次郎, 広沢正孝: スポーツチームの一体感尺度開発の試み. 日本スポーツ心理学会第39回大会研究発表抄録集, pp126-127, 2012.
  19. 川村佑貴, 川田裕次郎, 中島宣行, 広沢正孝: 保育者の言葉かけが幼児の運動に対するモチベーションに及ぼす影響. 日本スポーツ心理学会第39回大会研究発表抄録集, pp226-227, 2012.
  20. 林田章紀, 川田裕次郎, 田中純夫, 広沢正孝: 体育系大学生を対象とした日本語版運動依存尺度の検討. 日本スポーツ心理学会第39回大会研究発表抄録集, pp190-191, 2012.

21. 宮田裕子, 広沢正孝, 原崎妙子, 川田裕次郎: スウェーデン式マッサージが身体指標, 心理的指標に与える影響, 第43回日本看護学会抄録集—成人看護II, p211, 2011.
  22. 柏原聖子, 広沢正孝, 水野基樹, 川田裕次郎, 山田快: 教育職員のストレスマネジメントに関する研究—教育職員のためのストレスコーピング特性簡易尺度の検討—, 第16回日本精神保健・予防学会学術集会抄録集, p71, 2012.
  23. 広沢正孝: 高機能広汎性発達障害者にとっての生き甲斐とは—彼らの生きる世界を支えるために—. 日本発達障害者支援システム学会2012年度研究セミナー・研究大会, 順天堂大学, 2012. (12/16)
- ⑥
1. 広沢正孝: 書評, 「柴田明彦著, 『統合失調症はどこから来てどこへ行くのか—宗教と文化からその病理をひもとく』, 星和書店」. 精神医療, 65: 112-115, 2012.
  2. 広沢正孝: シンポジウム1「発達・成熟との関連で見るpsychosis」, 司会を終えて. 臨床精神病理, 33(1); 73-74, 2012.
  3. 広沢正孝: 書評, 「青木省三, 村上伸治編, 『精神科臨床レビュー』, 成人期の広汎性発達障害」, 中山書店」, 臨床精神医学, 41(6); 797, 2012.
  4. 広沢正孝: 成人のアスペルガー症候群. MD+「広汎性発達障害」シリーズ, NTTドコモ, 2012.

## 細見 修

- ④
1. 関節障害を持つ高齢者が容易にグルコサミンを摂取できるようにするための工夫と症状改善について. 第37回神奈川県栄養改善学会, 紅谷加津江, 細見 修, 「栄養かながわ」2012, 11.
  2. ビタミンD3やイソフラボン, グルコサミンが骨タンパク(コラーゲン遺伝子)に及ぼす影響. 第85回日本生化学会大会(福岡), 川合大樹, 平松慧太, 松島秀明, 安田良太, 黒田十和子, 牧岡優佳, 山岸美侑, 伊藤

匠, 細見 修, 2012, 84(11), 133.

3. マウスのEhrlich腹水癌細胞に対するGalα1-6GlcNH<sub>2</sub>(MeNH<sub>2</sub>)の抑制効果. 第85回日本生化学会大会(福岡), 伊藤 匠, 池田啓一, 細見 修, 2012, 84(11), 133.
4. ヒト由来K562白血病細胞のGalα1-6GlcNH<sub>2</sub>(MeNH<sub>2</sub>)受容体と取り込み経路について. 第26回キチン・キトサンシンポジウム(札幌), 細見 修, 奈良岡佑南, 池田啓一, キチン・キトサン研究, 2012, 18(2) 75.
5. イヌの悪性がん細胞に対するGlcNH<sub>2</sub>とGalα1-6GlcNH<sub>2</sub>(MeNH<sub>2</sub>)の増殖抑制効果について. 第26回キチン・キトサンシンポジウム(札幌), 伊藤 匠, 水野拓也, 平岡博子, 奈良岡佑南, 三澤義知, 又平芳春, 池田啓一, 細見 修, キチン・キトサン研究, 2012, 18(2) 215.

## ⑥

〔講演〕

1. 新しいオリゴ糖とその有効性, ヘルスプロモーション講座(ユウカリが丘), 2012. 7. 7. 細見 修

## 山岸 明子

- ②山岸明子 青年期から成人期の対人的枠組みと対人的認知—19年後の縦断的变化— 順天堂スポーツ健康科学研究 3(4) 209-218.

## ④

1. 山岸明子 青年期から成人期の対人的枠組みと対人的認知—17年後の縦断的变化—日本発達心理学会 116.
2. 山岸明子 青年期に記述された生育史における母親との関係と成人期の適応に関する縦断的検討 日本心理学会第76回大会発表論文集 1029.
3. 山岸明子・井森澄江 成人期女性の母親との関係—縦断的データによる30代前半と後半の比較—日本教育心理学会第54回総会発表論文集 146.
4. 井森澄江・山岸明子 成人期女性の父親との関係—母

親との関係の比較から—

日本教育心理学会第54回総会発表論文集 147.

### 先任准教授

飯嶋 正博

③

1. 「2011年日本リハビリテーション心理学会（学会）及び第37回心理リハビリテーションの会全国大会（大阪大会）報告」千葉県心理リハビリテーション連絡会ニュースレター No. 5 1-5
2. 「緊張をほぐす—動作法からのアプローチ—」発達協会春のセミナーF：不安や緊張が高い子どもへの理解と支援 テキスト 1-7
3. 「動作法の基本的な考え方—からだを通じた発達支援—」熊本心理リハビリテーション研究会第2回研修会資料1-6
4. 「立位における見立てと訓練手順」千葉県心理リハビリテーション研修会 第11回トレーナー研修会 習志野南消防署 資料1-2
5. 「動作法の見立てと訓練手順」ひまわりの会夏季集中訓練会 研修会 資料1-6
6. 「知的障害児の自立活動の指導」講演・実技指導 千葉県特別支援学校教育研究会 知的障害教育研究部会 C・Hブロック研修会 八日市場特別支援学校 研修会資料1-2
7. 「泳ぐ前（泳ぎを覚える前）に大切なこと」講演と実践指導 群馬 児童デイサービス 桑の木 親子プール教室〈母親〉資料1-2
8. 「動作法の基本的な考え方と最近の動作法について」, 「臥位姿勢の訓練の援助法」, 「タテ系動作訓練の援助法」, 「動作法による子どもの見立てについて」, 「インテーク」  
なのはな会夏季集中訓練会 研修会 資料1-6
9. 「障害者の雇用と就労支援」就労支援勉強会 青空の

会 資料1-5

10. 「動作法の見立てと訓練手順」さくらんぼの会夏季集中訓練会 研修会 資料1-6
  11. 「障害のある児童生徒の動きづくり」市川市特別支援教育研究連盟 夏季研修会 資料1-3
  12. 「個々の力を伸ばすための授業作り～体育の授業研究を通して～」東京都立多摩桜の丘学園 研修会 資料1-4
  13. 「不安や緊張が高い子どもへの理解と支援」さいたま市総合療育センターひまわり学園 研修会 資料1-8
  14. 「身体づくりとリラクゼーション—動作法の視点にもとづくアプローチ—」  
秋のセミナー3 発達障害のある子の「感覚」への配慮と支援 テキスト 発達協会15-23
  15. 「健康ライフをめざして 身体を通して心へ！ —健康動作法と無理のない動きづくり—」習志野市民カレッジ 研修会 資料1
  16. 「全校研究会（体育・保健体育分科会）」東京都立調布特別支援学校 助言・講演 資料1-2
  17. 「不器用な子どもの動きづくり」講演と実践指導 寿・六甲ふくろうの家（神戸市） 研修会 資料1-10
  18. 「ことばやきこえに問題を持つ子の動作及び発達」習志野市ことばを育てる親の会 講演と実践指導 資料1-2
- ④
1. 「気分と図形・色彩イメージ—三角イメージの活用に向けて—」飯嶋正博, 福川裕司, 中島宣行 日本体育学会第63回大会予稿集, 119
  2. 「教員研修として動作法を用いた職場外教育について—千葉県内訓練会—」  
大山直樹, 飯嶋正博 日本リハビリテーション心理学会学大会 発表論文集 12-13



3. 「動作法を用いたダウン症児・者の運動教室—千葉県・東京都内—」  
飯嶋正博, 大山直樹 日本リハビリテーション心理学会学大会 発表論文集 46-47
4. 「The relative age effect on physical fitness, motor ability, physical competence and evaluation from kindergarten teachers among Japanese young children.」Y. Kawata, M. Iijima, S. Izutsu, K. Yamada, A. Kamimura, M. Hirokawa Proceedings of the 8th Asian Preschool Physical Education Conference and PE Workshop for Kindergarten Teachers, Beijing, China, CD-ROM (5pages)
5. 「相対的年齢が幼児の体格, 運動能力, 運動有能感及び保育者からの評価に及ぼす影響」川田裕次郎, 矢島雪乃, 山田 快, 上村 明, 飯嶋正博, 水野基樹, 広沢正孝 人類働態学会第47回大会抄録集 41-42
6. 「幼児における体格, 運動能力, 保育者からの評価と運動有能感の関連」川田裕次郎, 山田 快, 上村 明, 那須野歩, 飯嶋正博, 中島宣行, 広沢正孝 日本体育学会第63回大会予稿集, 123
7. 「幼児における運動有能感測定の試み」川田裕次郎, 飯嶋正博, 井筒紫乃, 山田 快, 上村 明, 広沢正孝 日本幼児体育学会第8回大会予稿集 88-89

⑥

1. 「さくらんぼの会30周年を記念して」30周年記念誌 千葉さくらんぼの会 4
2. 「自立活動実技研修会」実技指導・実技研修 兼 千葉県特別支援学校教育研究会肢体不自由教育研究部部門別研修会 千葉県立銚子特別支援学校
3. 「プール講演会：泳ぐ前（泳ぎを覚える前）に大切なこと」実技指導 千葉たんぼの会
4. 「プール指導」実技指導 千葉県立つくし特別支援学校 かりんの会
5. 「プール指導」実技指導 多摩障害者スポーツセンター 武蔵野ひまわりの会
6. 「プール講演会：泳ぐ前（泳ぎを覚える前）に大切な

こと」実践指導

群馬 児童デイサービス 桑の木 親子プール教室〈父親〉

7. 「分科会 E 健康動作法」 助言者  
第38回心理リハビリテーションの会全国大会（福岡大会）
8. 「大学生における社会的認知能力と集団適応に関する認知・神経心理学的研究」川田裕次郎, 広沢正孝, 桐野衛二, 田中純夫, 澁谷智久, 飯嶋正博 順天堂大学スポーツ健康科学研究 3 (Supplement) 10 (研究成果報告書)

牛尾 直行

②

1. 牛尾直行, インドにおける「無償義務教育に関する子どもの権利法 (RTE2009)」と社会的弱者層の教育機会, 広島大学現代インド研究 空間と社会, vol. 2, 63-73 (2012)
2. 古田弘子, 牛尾直行, インド, タミル・ナードゥ州のインクルーシブ教育—RTE法とサルバ・シクシャ・アビヤン政策下の実態—, 熊本大学教育学部紀要, 第61号, 人文科学, 117-124 (2012)

④

1. 牛尾直行, インドのインクルーシブ教育の制度と実態—RTE法の施行と障害児の教育を受ける権利, 九州大学, 2012. 6. 17
2. 牛尾直行, インド南部2州におけるOBC学生の教育機会形成過程に関する考察, 日本教育制度学会第20回大会, 岡山大学, 2012. 11. 17

⑥

牛尾直行, ダリット生徒・学生の学歴形成と教育制度—チェンナイにおける小規模2調査から見えてきたこと, 南アジア教育科学研究会報告, 京都大学, 2012. 1. 22

## 田中 純夫

## ①

1. 田中純夫：第5章「精神保健の視点からみた学校教育の課題とアプローチ」第1節～第3節担当、『精神保健の課題と支援（新・精神保健福祉士養成講座 2）改訂版』：125-162, 2012年

## ③

1. 田中純夫：青年期の心理と行動の理解と大人の役割～対人関係の構築とコミュニケーション能力の育成のために～, 千葉県高等学校PTA 連合会研修会2012年報告集：2012

## ④

1. 西田敬志, 田中純夫, 北村 薫：保健体育系大学生による児童生徒の適応支援活動の有効性とシステム整備, 日本スポーツ社会学会 第21回大会抄録集：43-44, 2012年
2. 西田敬志, 田中純夫：体育系大学生における無気力とライフイベントとの関連, 人類動態学会会報 第96号：58-59, 2012年
3. 西田敬志, 田中純夫：青年期における関係性攻撃の検討Ⅰ, 犯罪心理学会 第50回大会研究発表論文集, 2012年
4. 田中純夫, 西田敬志：青年期における関係性攻撃の検討Ⅱ—関係性攻撃と心理特性・精神的健康状態および学生生活における適応との関連, 犯罪心理学会 第50回大会研究発表論文集, 2012年
5. 田中純夫：大学生における自閉症スペクトラムに関連する心理特性—自閉症スペクトラム指数(AQ)からみた大学生の健康感と諸症状, 日本心理臨床学会 第31回大会論文集：639, 2012年
6. 西田敬志, 田中純夫：大学生における自閉症スペクトラムとアパシー傾向との関連, 日本教育心理学会 第54回総会 発表論文集：629, 2012年
7. 田中純夫, 西田敬志, 木村 翔, 佐渡幹也, 王岳：大学生における自閉症スペクトラムとライフイベン

ト経験との関連, 日本教育心理学会 第54回総会 発表論文集：630, 2012年

8. 林田章紀, 川田裕次郎, 田中純夫, 広沢正孝：体育系大学生を対象とした日本語版運動依存尺度の検討, 日本スポーツ心理学会第39回大会研究発表抄録集：2012年
9. 小林令子, 田中純夫：女子大学生における公的自意識と被服行動および瘦身志向との関連, 日本ヘルスプロモーション学会 第10回学術大会・総会 抄録集：62, 2012年
10. 西田敬志, 佐藤健太郎, 田中純夫：大学生における主観的健康感とライフイベントとの関連, 日本ヘルスプロモーション学会 第10回学術大会・総会 抄録集：64, 2012年

## ⑤

1. 田中純夫：蛍雪時代臨時増刊2012年入試対策用全国大学学部・学科案内号, 学問分野別ガイダンス健康科学, 旺文社：978-979, 2012

## ⑥

1. 田中純夫：精神保健福祉士国家試験模擬問題集2013, 心理学的理論と心理学的支援 104-107中央法規2012
2. 田中純夫：千葉県総合教育センター平成24年度高等学校初任者研修, 共感的理解に基づく生徒指導 9月2012
3. 田中純夫：千葉県総合教育センター平成24年度小・中・高等学校生徒指導担当者研修, 問題行動とその指導のあり方 6月2012
4. 田中純夫：千葉県子どもと親のサポートセンター平成24年度養護教員教育相談上級講座, 健康相談活動の充実に向けて10月2012
5. 田中純夫, 船橋市・市川市・八千代市・市原市・旭市教育委員会および千葉県内小中高等学校の職員研修等

## 山本 澄子

⑥

1. 東京都の看護専門学校学生の喫煙調査 1~3年生100名, 2012年10月
2. 九州病院の看護師の喫煙意識調査, 2012年12月

## 四方田 清

①

1. 「精神保健福祉白書2013年版一障害者総合支援法の施行と障害者施策の行方」. 共著, 精神保健福祉白書編集委員会編, pp50, 中央法規出版, 2012
2. 新・精神保健福祉士養成講座2「精神保健の課題と支援」. 編集委員, 日本精神保健福祉士養成校協会編, pp245-250 (精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割), pp302-306 (地域精神保健と関係法規), pp307-310 (精神保健に関する人材育成), 中央法規出版, 2012
3. 新・精神保健福祉養成講座6「精神保健福祉に関する制度とサービス」. 日本精神保健福祉士養成校協会編, pp98-101 (精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス: 自殺対策), 中央法規出版, 2012
4. 精神保健福祉士シリーズ2「精神保健の課題と支援」. 福祉臨床シリーズ編集委員会編, pp124-128 (地域保健活動の一環としての精神保健問題), pp129 (コラム: 精神科医療と地域生活支援に向けた権利擁護), 弘文堂, 2012
5. 精神保健福祉士シリーズ7「精神保健福祉に関する制度とサービス」. 福祉臨床シリーズ編集委員会編, pp107-111 (インフォーマルな社会資源), 弘文堂, 2012
6. MINERVA 福祉資格テキスト「精神保健福祉士: 専門科目編」. 社団法人日本精神保健福祉士協会監修, ミネルヴァ書房テキストブック編集委員会編, pp154-163 (地域精神保健活動と専門職・機関の役割), ミネルヴァ書房, 2012

③平成24年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)「新たな地域精神保健医療体制の構築のため

の実態把握および活動の評価等に関する研究」: 分担研究報告書「入院患者の権利擁護に関する研究」研究分担者河崎建人(水間病院・全国精神医療審査会連絡協議会会長)代表研究協力者平田豊明(千葉県精神科医療センター)研究協力者四方田清(順天堂大学)他

⑥

1. 「イタリアの精神保健福祉事情」. NPO 法人ばらばれ主催「人生ここにあり上映会」, 白井市文化会館大ホール(2012. 8. 26)
2. 「精神保健福祉と家族支援」. こころの市民講座, 印西市役所大講堂, 主催: 印西市社会福祉課(2012. 9. 26)
3. 「日本精神保健福祉士協会の役割」. 基幹研修 in 千葉, 総武病院, 主催: 日本精神保健福祉士協会千葉県支部(2012. 12. 9)

## 涌井佐和子

①涌井佐和子. 健康づくり事業の計画と実践効果. 川西正志・野川春夫(編著)生涯スポーツ実践論<改訂3版>~生涯スポーツを学ぶ人たちに~(pp. 61-68.) 2012. 市村出版

②

1. 小野 隆, 涌井佐和子, 前上里直, 広沢正孝, 島内憲夫. 地域における介護予防事業の自己効力感に対する効果についての縦断的研究. 理学療法科学(2012. 9 受理 in press)
2. 東恩納玲代, 吉田剛一郎, 河野吉喜, 永山 寛, 齋藤和人, 前田 明, 浜岡隆文, 汜 翔, 隅野美砂輝, 涌井佐和子, 吉武 裕. 階段駆け上がりテストによる地域在住高齢者の下肢筋パワーの評価. 生涯スポーツ学研究, 8(2): 16-22, 2012. 6.

③青木和浩, 廣瀬伸良, 中島宣行, 柳谷登志雄, 原田睦巳, 工藤康宏, 涌井佐和子, 河村剛光. 2011年度順天堂大学体格体力累加測定. 順天堂スポーツ健康科学研究, 3(supplement) 21-31. 2012.

④

〔国内学会シンポジウム〕

1. 涌井佐和子. 健康づくり指導現場における測定と評価の課題. 第63回日本体育学会体育測定評価分科会シンポジウム「現場に活かす測定と評価とは」第63回日本体育学会 (東海大学: 神奈川県秦野市) 2012. 8.

〔国内学会一般発表〕

1. 涌井佐和子, 志手典之, 越山賢一, 佐川正人. 健康増進プログラム参加者におけるセルフモニタリング. 第11回日本体育測定評価学会 (日本医科大学: 神奈川県川崎市) 2012. 2.
2. 朝倉隆司, 涌井佐和子, 青柳直子, 竹鼻ゆかり. 小中学生のストレス反応に関する生物—心理—社会的要因のパスモデル. 第21回日本健康教育学会学術大会 (首都大学東京: 東京都日野市) 2012. 7.
3. 池畑亜由美, 関口晃子, 涌井佐和子, 鈴木志保子, 能瀬さやか, 山口理恵子, 野上玲子, 小笠原悦子. 女性アスリートを対象としたコンディション管理ツールの開発 (報告その1) ~女性アスリート手帳の食事構成記録フォームについて~. 第6回NPO法人日本スポーツ栄養研究会総会・学術集会 (いわて県民情報交流センター (アイーナ): 岩手県盛岡市) 2012. 7.
4. 涌井佐和子, 長島未央子, 萩裕美子, 東恩納玲代, 吉武裕. 国保特定健康診査の受診状況と体重管理および健康行動習慣との関連. 第63回日本体育学会 (東海大学: 神奈川県秦野市) 2012. 8.
5. 小野 隆, 涌井佐和子, 前上里直, 広沢正孝, 島内憲夫. 地域における介護予防事業の自己効力感に対する効果についての縦断的研究. 第63回日本体育学会 (東海大学: 神奈川県秦野市) 2012. 8.
6. 池畑亜由美, 涌井佐和子, 関口晃子, 山口理恵子, 野上玲子, 小笠原悦子. 大学生女性アスリートにおけるコンディショニング管理のためのセルフモニタリングの実施状況. 第63回日本体育学会 (東海大学: 神奈川県秦野市) 2012. 8.
7. 関口晃子, 涌井佐和子, 池畑亜由美, 野上玲子, 小笠原悦子. 大学生女性アスリートのコンディション管理に

おける教育経験の現状. 第63回日本体育学会 (東海大学: 神奈川県秦野市) 2012. 8.

8. 丸山麻子, 涌井佐和子. 積極的支援該当者に対してどのような運動指導が有効か? ~定期健康診断時の身体活動に関する問診票および初回支援時の運動目標からの検討~. 第15回 運動疫学研究会 学術集会 (じゅうろくプラザ小会議室: 岐阜県岐阜市) 2012. 9.
9. 黒田 豊, 原口 晃, 松本真之, 西尾進也, 涌井佐和子, 山本正嘉. 高血圧患者の運動処方時における自覚的運動強度の有用性. 第67回日本体力医学会大会 (長良川国際会議場・都ホテル: 岐阜県岐阜市) 2012. 9.
10. 松本真之, 黒田 豊, 原口 晃, 西尾進也, 涌井佐和子. 無酸素性作業閾値強度と自覚的運動強度の検討. 第67回日本体力医学会大会 (長良川国際会議場・都ホテル: 岐阜県岐阜市) 2012. 9.
11. 西尾進也, 黒田 豊, 松本真之, 原口 晃, 涌井佐和子. 高齢者における症候限界性運動負荷心電図検査の概要. 第67回日本体力医学会大会 (長良川国際会議場・都ホテル: 岐阜県岐阜市) 2012. 9.
12. 涌井佐和子, 長島未央子, 萩裕美子, 東恩納玲代, 吉武裕. 国保特定健康診査未受診者の生活習慣ならびに心理・行動的特徴—鹿屋市の事例—. 第67回日本体力医学会大会 (長良川国際会議場・都ホテル: 岐阜県岐阜市) 2012. 9.
13. 原口 晃, 黒田 豊, 松本真之, 西尾進也, 涌井佐和子, 元田憲. 民間病院併設型運動療法施設 (いわゆる医療法42条施設) における生活習慣改善プログラムの効果. 第54回全日本病院学会 in 横浜 (パシフィコ横浜: 神奈川県横浜市) 2012. 9.
14. 涌井佐和子, 長島未央子, 萩裕美子, 東恩納玲代, 吉武裕. 国保特定健康診査受診状況と運動・身体活動習慣に関わる要因との関連. 生涯スポーツ学会第14回大会 (広島経済大学: 広島県広島市) 2012. 10.
15. 小野 隆, 涌井佐和子, 広沢正孝. 介護予防事業における自己効力感の縦断的变化—運動習慣保有者と非保有者の比較—. 生涯スポーツ学会第14回大会 (広島経済

大学：広島県広島市) 2012. 10.

16. 石澤伸弘, 涌井佐和子. ご当地体操指導者の意識に関する研究—北海道岩見沢市「ひゃっぴい体操」指導者に着目して—. 生涯スポーツ学会第14回大会 (広島経済大学：広島県広島市) 2012. 10.

⑥

〔受託研究〕

1. 笹川スポーツ財団2012年度笹川スポーツ研究助成「プロスポーツチームとまちづくりに関する研究—bjリーグ新規参入チームの拠点地域における住民のソーシャルキャピタルに着目して—」(研究分担者)

〔国際シンポジウム〕

1. Coordinator: Masashi Kawanishi & Sawako Wakui. The 2012 International Forum on Muscle Fitness Exercise as Chokin for Elderly People. Introduction of a Promotion Plan for Chokin Exercise in the Comprehensive Community Sports Club in Collaboration with the Japan Health Promotion & Fitness Foundation and the National Institute of Fitness & Sports in Kanoya. (National Institute of Fitness & Sports in Kanoya) 2012. 12.

〔講演 (研修, 教育講演含む)〕

1. 内藤久士, 涌井佐和子. 千葉県健康福祉部健康づくり支援課「平成23年度特定健診・特定保健指導実践者スキルアップ研修会」(運動指導の実際：担当) (千葉県教育会館：千葉県千葉市) 2012. 1.
2. 涌井佐和子. 千葉県在宅看護職等の会「平成24年度特定健診・特定保健指導支援事業フォローアップ研修 (身体活動・運動に関する保健指導の実際 ～身体活動と消費エネルギーについての理解を深め, 行動目標設定に役立てる～)」(千葉県国保会館4階会議室：千葉県千葉市) 2012. 5.

准教授

松山 毅

- ①精神保健福祉士国家試験模擬問題集 2013 (2012)「地域福祉論」問題・解説 p48-53, 116-120, 186-190

④

1. 松山 毅・川上浩嗣 (2012)「千葉県における福祉教育推進員養成研修の現状と課題」第18回日本福祉教育・ボランティア学習学会
2. 渡邊貴裕・松山 毅・下村義夫・本田由佳 (2012) 知的障害者における健康課題—身体組成に着目して—. 第71回日本公衆衛生学会

渡邊 貴裕

①

1. 渡邊貴裕, 他4名【分担執筆】(2012) 人間関係でちょっと困った人&発達障害のある人のためのサポートレシピ. 福村出版
2. 渡邊貴裕, 他9名【編著】(2012) 障害者の理解と教育・支援. 特別支援教育/障害者支援のガイド. 金子書房
3. 渡邊貴裕, 他12名【編著】(2012) 発達障害支援ハンドブック 医療, 療育・教育, 心理, 福祉, 労働からのアプローチ. 金子書房

4. 渡邊貴裕, 他7名【編著】(2012) 知的・発達障害のある子のための「インクルーシブ保育」実践プログラム. 福村出版

④

1. 渡邊貴裕 本田由佳 橋本創一 菅野 敦 (2012) 知的障害者の身体組成と健康課題. 日本発達障害学会第47回大会論文集 pp. 94.
2. 渡邊貴裕 本田由佳 橋本創一 菅野 敦 (2012) 知的障害者の身体組成に関する研究. 日本特殊教育学会第50回大会論文集 pp. 138.
3. 渡邊貴裕 (2012) 学習困難・軽度知的障害児があらゆる教育の場で増えている—学習支援の展開を考える—健康スポーツ教育の実態把握と支援方法. 日本特殊教育学会第50回大会論文集 pp. 108.
4. 渡邊貴裕 松山 毅 下村義夫 本田由佳 (2012) 知的障害者における健康課題—身体組成に着目して—. 第

71回日本公衆衛生学会総会抄録集 pp. 427.

5. 本田由佳 鈴木光幸 成高中之 齋藤暢知 箕輪 圭  
東海林宏道 大塚宜一 渡邊貴裕 内藤久士 清水俊明  
(2012) 身体組成からみた栄養状態と生活習慣の関連—  
小学生高学年での検討—. 栄養消火器肝臓学会論文集  
pp. 235.
6. 本田由佳 鈴木光幸 成高中之 齋藤暢知 箕輪 圭  
東海林宏道 大塚宜一 渡邊貴裕 内藤久士 清水俊明  
(2012) 身体組成からみた栄養状態とダイエットの関連  
—小学校高学年での検討—. 思春期学会論文集 pp.  
443.

## 助教

### 池田 啓一

#### ②

1. A Nutrition Survey of Atherosclerosis Patients to Study  
the Effects of Iron, Zinc, and Copper on Atherosclerosis,  
Naoki Shida, Yoko Tsuchiya, Fumiya Yamakura, Tatsuji  
Kano, Yuji Nakazato, Kazuko Takada, Sachio Kawai,  
Keiichi Ikeda, Yuko Amamiya, Shigeru Nakajima, Kazu-  
hiko Machida, Hideaki Iwai, *Trace Nutrients Research* 29:  
110-116 (2012)
2. 一般ゴミ由来溶融スラグの重金属封じ込め効果  
小林 淳, 池田啓一, 寺田 宙, 望月眞理子, 杉山英男  
*Bunseki Kagaku*, 61(4) 281-285, 2012
3. 共同利用飲用設備の清浄性調査  
小林 淳, 池田啓一, 望月眞理子  
*Yakugaku-Zasshi*, 132(7) 855-860, 2012

#### ④

1. 柔道競技における無酸素性パワートレーニングの有効  
性の検討  
伊藤 匠, 菅波盛雄, 池田啓一, 佐賀典生, 細見 修,  
小林弦平  
第19回日本健康体力栄養学会学術総会 (ポスター No. P-  
6) 2012
2. 家庭浴槽水及び公園蛇口水の汚染～細菌繁殖からみて  
～

小林 淳, 寺田 宙, 池田啓一, 望月眞理子, 杉山英男  
日本薬学会第132年会 (札幌) (31P2-pm072) 2012

3. イヌの悪性がん細胞に対する GlcNH<sub>2</sub> と Galα1-  
6GlcNH<sub>2</sub> (MeNH<sub>2</sub>) の増殖抑制効果について  
伊藤 匠, 水野拓也, 平岡博子, 奈良岡佑南, 三澤義  
知, 又平芳春, 池田啓一, 細見 修  
第26回キチン・キトサンシンポジウム講演要旨集, キチ  
ン・キトサン研究 18(2), 215, 2012
4. ヒト由来 K562 白血病細胞の Galα1-6GlcNH<sub>2</sub>  
(MeNH<sub>2</sub>) 受容体と取り込み経路について  
細見 修, 奈良岡佑南, 池田啓一, 伊藤 匠  
第26回キチン・キトサンシンポジウム講演要旨集, キチ  
ン・キトサン研究 18(2), 176-177, 2012
5. フォトダイオードアレイ検出高速液体クロマトグラフ  
ィーによる環境水および尿中カフェインの迅速分析  
小林 淳, 池田啓一, 寺田 宙, 望月眞理子, 杉山英男  
日本分析化学会第61年会講演要旨集, p. 253, 2012
6. マウスの Ehrlich 腹水癌細胞に対する Galα1-6GlcNH<sub>2</sub>  
(MeNH<sub>2</sub>) の効果  
伊藤 匠, 池田啓一, 細見 修  
第85回日本生化学会大会 (ポスター No. 3P-078) 2012